Panasonic®

パーソナル MD システム

取扱説明書

品番　RX-MDX80

このたびは、パーソナル MD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

本機の特長

オペレーションステージ

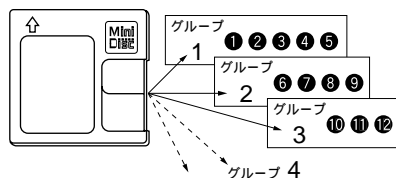
本体下部のオペレーションステージに基本操作ボタンが集められているので、手元で集中操作ができます。
また、本体の向きを上方向に調節できます。（➡ 7 ページ）

オペレーションステージ

MD の長時間ステレオ録音/再生（MDLP）

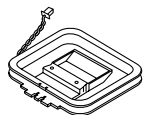
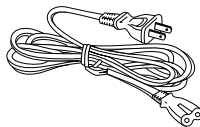
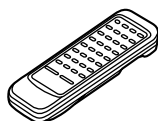
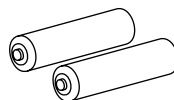
本機は MD の長時間録音用フォーマット MDLP に対応しています。
MDLP は、ATRAC 3 という音声圧縮技術を使うことで、ステレオ音声で 2 倍(LP2 モード)、4 倍（LP4 モード）の長時間録音が可能になりました。録音するソース（音源）や録音方法に関係なく設定できます。また、1 枚の MD に異なる LP モード（標準/LP2/LP4）の曲を混ぜて録音することもできます。

MD のグループ管理機能

連続した何曲かをグループに分けて、それぞれにタイトルを付けて管理することができます。
例えば、LP4 モードで 4 枚の CD を 1 枚の MD へ録音する場合などに使えば、再生時にはグループ単位で曲の頭出しができ、聞きたい曲を素早く見つけることができます。

MP3 再生対応

本機では MP3 形式で記録された CD-R/RW を再生することができます。
MP3 は MPEG（エムペグ） Audio（オーディオ） Layer3（レイヤー） という音声圧縮技術を使って、音楽データを元の音質をあまり損なうことなく圧縮できます。
パソコン等で付けたフォルダまたは MP3 ファイルの名前を、それぞれアルバム名またはトラック名として扱います。

付属品の確認

□ AM ループアンテナ......................1 本
（品番 G0ZZ00002036）

□ 電源コード......................................1 本
（品番 RJA0012-K）

□ リモコン ....1 コ
（品番 EUR648272）

□ リモコン用単 3 形乾電池.............2 本

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  カッコ（　　）内は、買い替え時の品番です。

もくじ

確認と準備

再生

録音

もっと使いこなす

もし必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

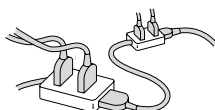
警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは､プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

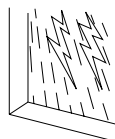
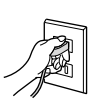
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ・機器やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ご使用について

機器の上にものを載せない

● 機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

● ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
● 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
● 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

分解禁止

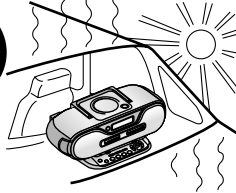
● 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
● 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠ 注意

設置について

放熱を妨げない

● 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
● 後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

● 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
● 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

● 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

● 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

● 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
● 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
● 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

必ずお守りください

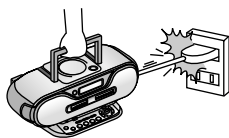
安全上のご注意（つづき）

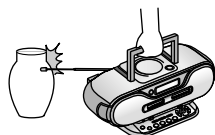
⚠ 注意

ご使用について

ひび割れ、変型したディスクやハート形などの特殊形状のディスクは使わない

- 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

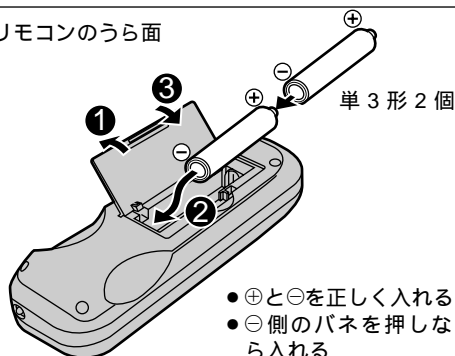
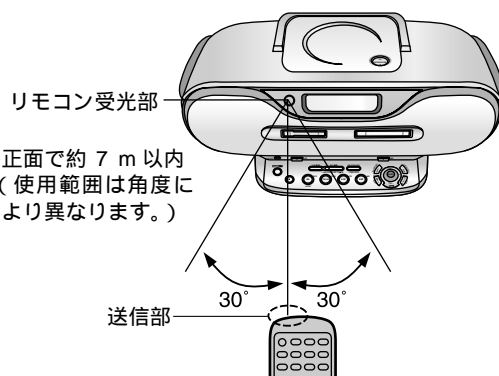
機器に乗らない

- 破損して、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

リモコンの準備

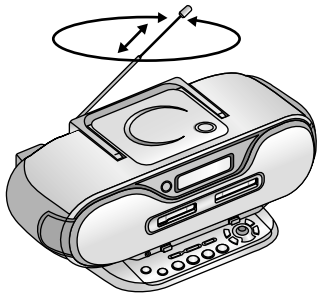
乾電池（付属）の入れかた

リモコンの使いかた

■**使用上のお願い**
- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

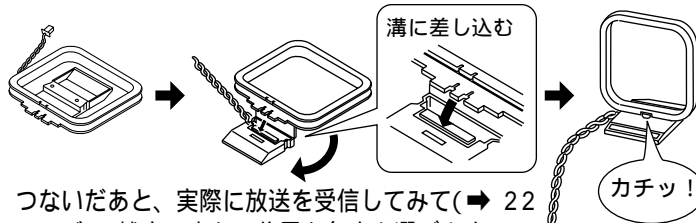
■**故障防止のために**
- 分解、改造をしない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

アンテナの接続と電源の準備

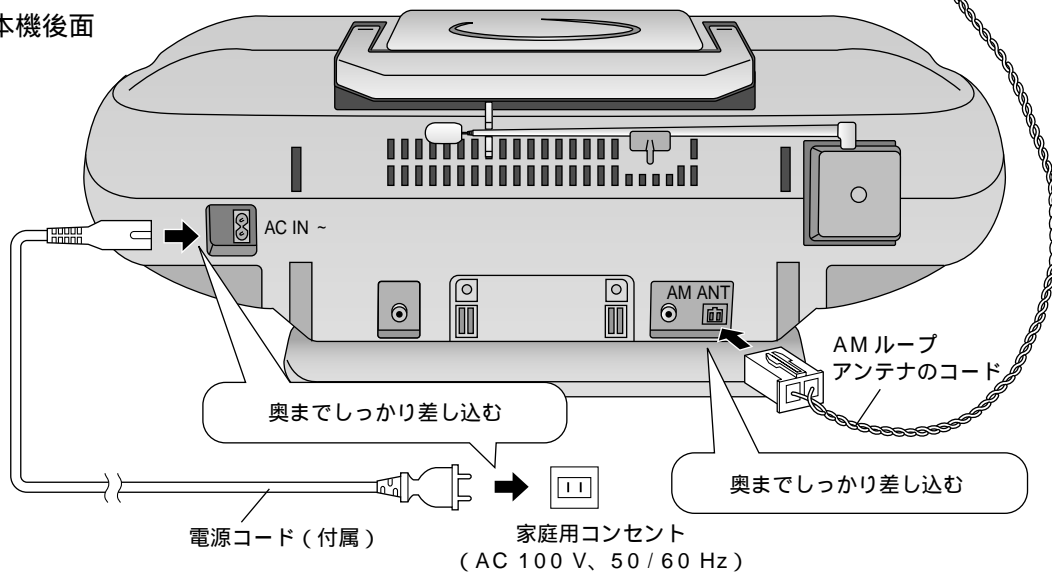
家庭用コンセントで使います。
電池では使えません。

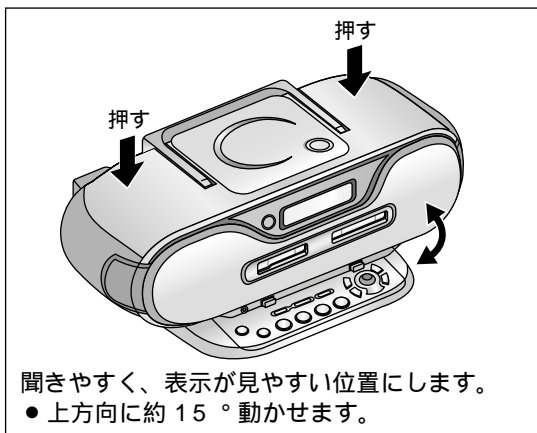
FM ホイップアンテナの調整

受信状態がよくないときは、長さと向きを調整する。

AM ループアンテナ（付属）の接続と調整

本機は AM アンテナを内蔵していないため、AM ループアンテナを接続しないと AM 放送が受信できません。必ず接続してください。

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➡ 22 ページ）、雑音の少ない位置と角度を選びます。

■ AM ループアンテナを外すには
ループアンテナのコードをゆっくりと引っ張る。

本機後面

設置について

本体の向きを上方向に調節できます。

聞きやすく、表示が見やすい位置にします。
● 上方向に約 15 °動かせます。

お願い

本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

各部のなまえ

⓬ などの数字は参照ページです。

本体

表示部

リモコン

SLEEP（おやすみタイマー）ボタン ㊾

TITLE IN／CHARA（タイトル入力/文字種類選択）ボタン ㊷

⏻（電源）ボタン

LIVE VIRTUALIZER ボタン ㊿

C. RESET ボタン ㉑

PLAY MODE（再生/受信モード）ボタン ⓯ ㉑ ㉓

P-MD、AUX（ポータブルMD、外部入力切り換え）ボタン ㊼ 52

DEL、PGM／CLEAR ボタン ⓮ ㊸

基本操作部ボタン

C.D.TIMER ボタン ㊾

ENTER（決定）ボタン ⓰

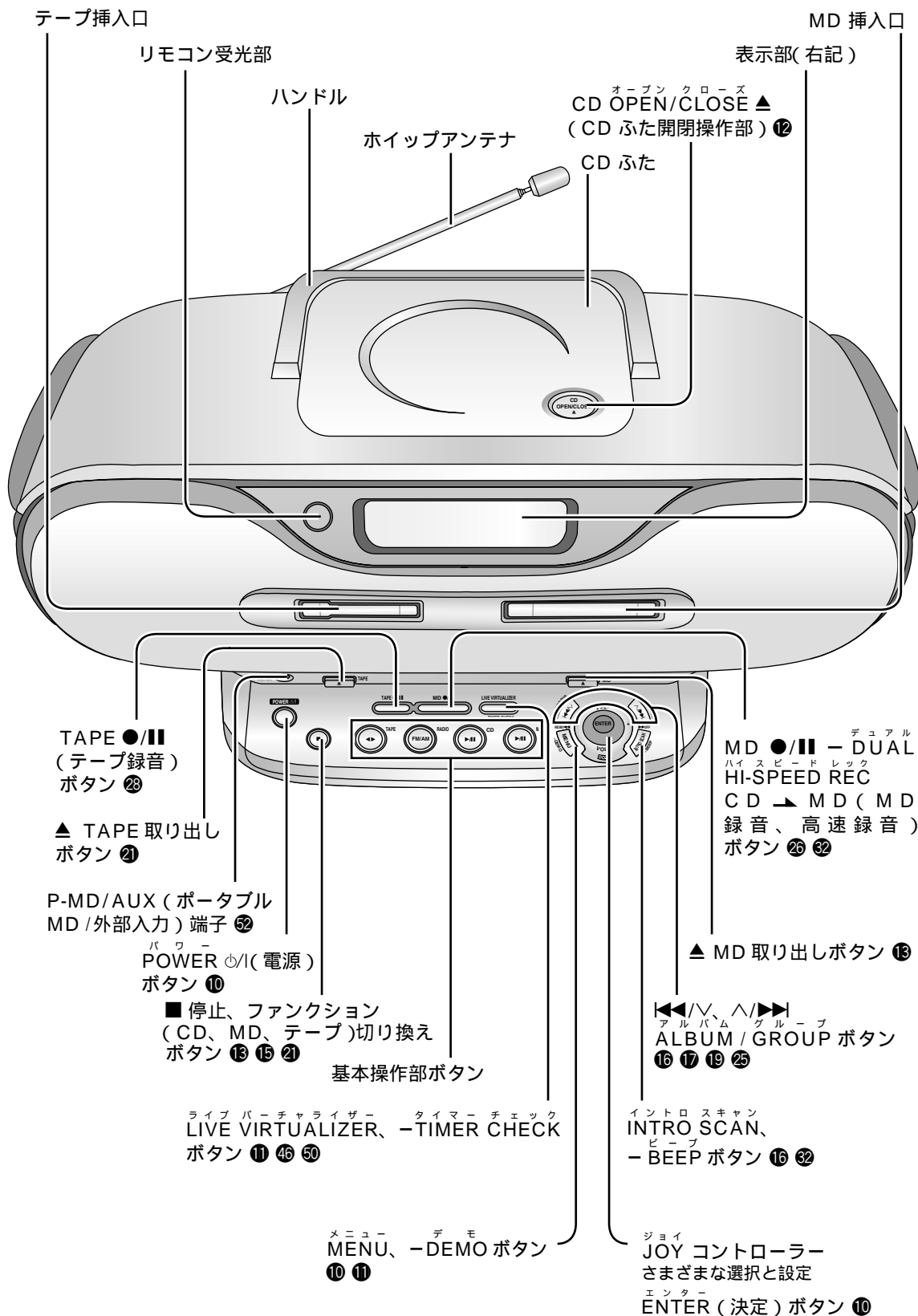
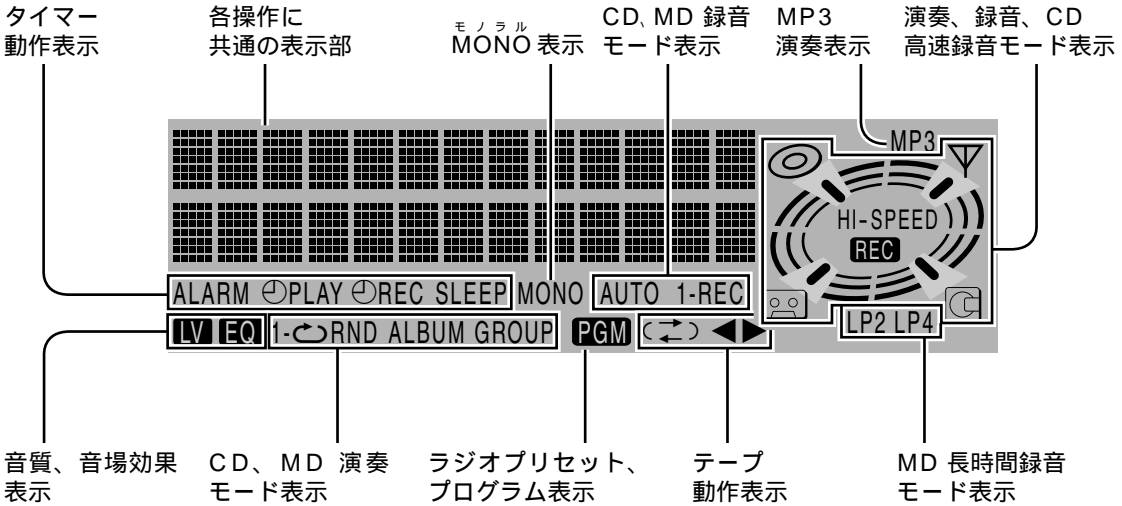
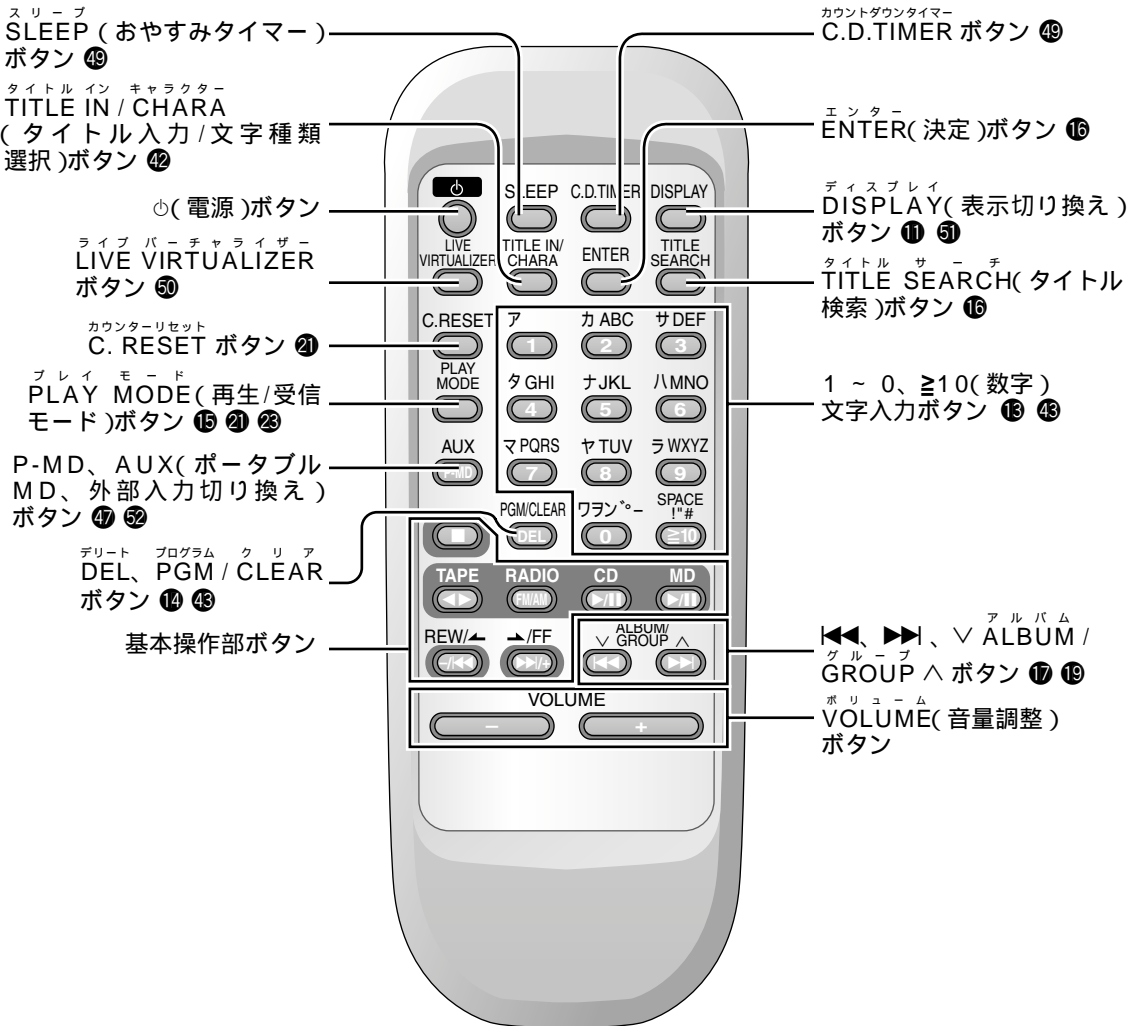
DISPLAY（表示切り換え）ボタン ⓫ 51

TITLE SEARCH（タイトル検索）ボタン ⓰

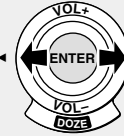
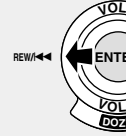
1 ～ 0、≧10（数字）文字入力ボタン ⓭ ㊸

⏮、⏭、∨ ALBUM／GROUP ∧ ボタン ⓱ ⓳

VOLUME（音量調整）ボタン

各部のなまえ

確認と準備

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。
例： 16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

JOY（ジョイ） コントローラーの使い方

本機の JOY コントローラーは、“ 上下 ”“ 左右 ”に傾ける、または[ENTER]を押すことで操作します。本書では JOY コントローラーの使い方を下記のイラストで表しています。

■ 音量を調整する場合

“ 上下 ”に傾ける

■ メニューの選択や CD、MD の曲をスキップする場合など

“ 左右 ”に傾ける

■ 選択したメニューを決定する場合など

[ENTER]を押す

■ メニューの選択と決定の場合

①“ 左右 ”に傾けて、②[ENTER]を押す

数回押して、
“ CLOCK ”を表示させ、時刻を確認する

- 電源「切」時は、時計を合わせていれば、時計表示になります。（本体の[LIVE VIRTUALIZER – TIMER CHECK]を押し続けると照明が点灯し、見やすくなります。約 3 秒で自動消灯します。

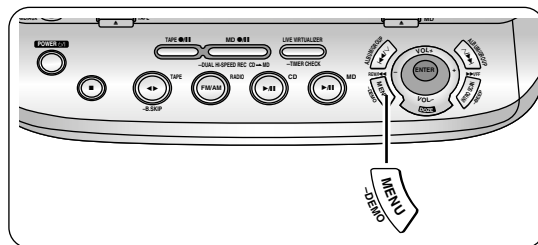
お知らせ

- 時計精度は室温において月差約 1 分です。定期的な時刻補正をおすすめします。
- 停電後、約 74 分以内に復帰した場合、時計表示全体が点滅します。
この点滅は一度電源を入れると解除されます。このとき、時刻が合っていることを確認してください。
- 時計を合わせると、デモ機能（➡ 右記）は自動的に「切」になります。

パネル表示の変化について

デモ機能

電源コードをコンセントに差し込むと、パネル表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これを**デモ（デモンストレーション）機能**と呼びます。

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。デモ機能を「入」のままにしておくと、電源を「切」にしてもパネル表示は全消灯せず、デモ機能が働きます。

デモ機能を「切」にするには

デモ機能動作中に
“ DEMO OFF ”と表示するまで押し続ける

DEMO OFF

押し続けるたびに
DEMO OFF（切） ⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。時計合わせの方法については、「時計を合わせる」（左ページ）をご覧ください。

お願い

電源プラグを約 1 週間以上、抜いておくとデモ機能「入」に戻ります。もう一度、上記の操作で「切」にしてください。

メモリーの保持について

電源プラグを 3 分間以上、コンセントに差し込んでいれば、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても、右のように、設定したメモリー内容を保持します。
保持期間を超えて、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いておくと、メモリー内容は消えます。
メモリー内容が消えたときは、再び設定してください。
メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。（電源「切」時の消費電力：約 1.0 W）

●約 74 分間、保持する項目

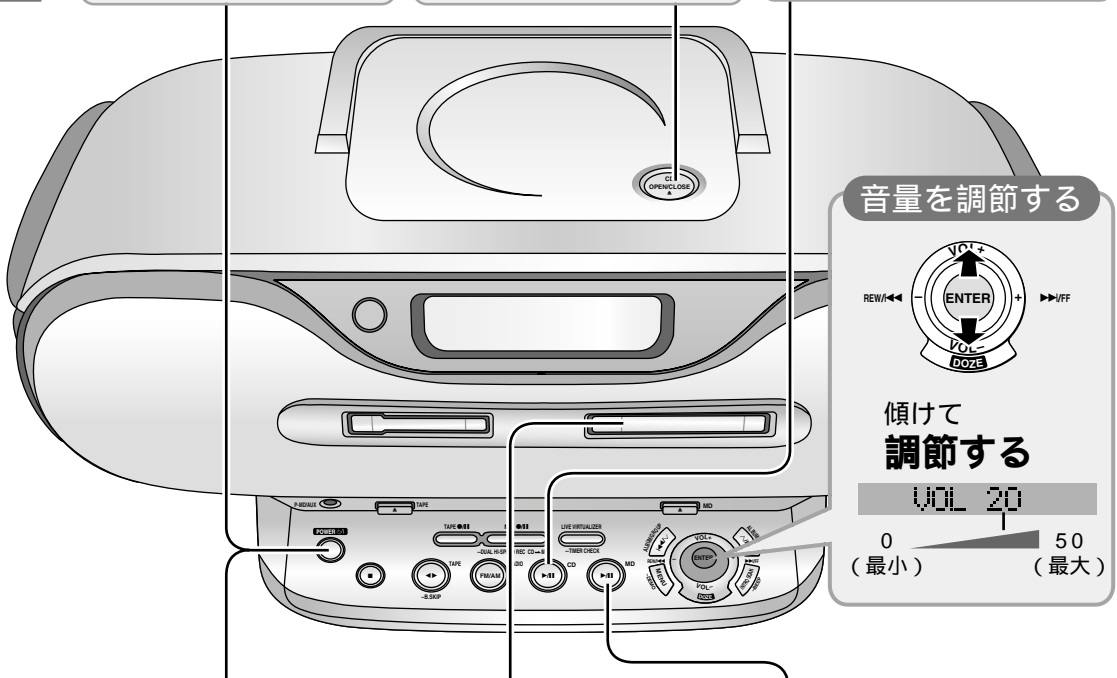
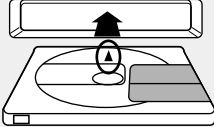
- 現在時刻
- タイマー設定（時刻以外の内容）

●約 1 週間、保持する項目

- タイマー設定（時刻）
- 放送局の設定（エリアバンク）
- 放送局の設定（マニュアルメモリー）
- MD のプログラム内容
- デモ機能の設定
- 音質の設定、など

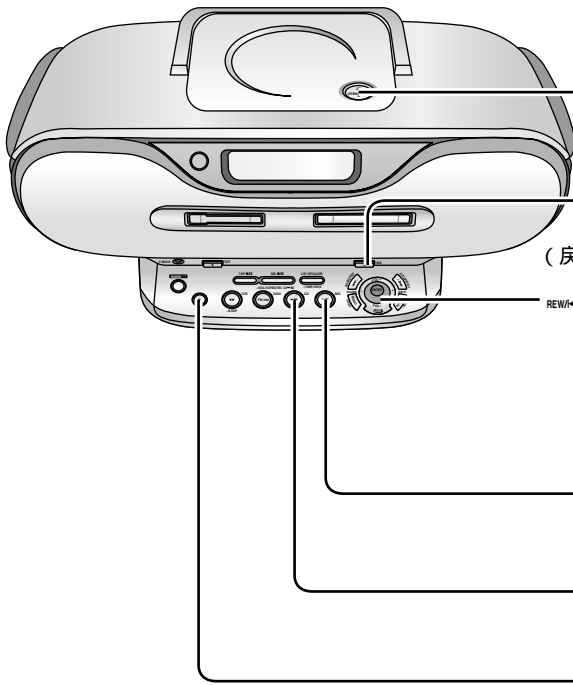
CD／MD を再生する

はじめて CD または MD を使用する場合は、55 ページ「MD について」、56 ページ「CD について」をお読みください。

● MP3 は読み込みに時間がかかります。“ TOC Reading ” の表示が消えるまでお待ちください。

お願い

- 演奏中、一時停止中、または CD を入れて CD ふたを閉めた直後に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷が付く恐れがあります。
- ハンドルを倒した状態で、CD ふたを開けてください。

お知らせ

- 他の機器で長時間モノラル録音した MD の曲を本機で演奏すると、“ MONO ”が点灯します。
- すでにディスクが入っているときには、手順 3 から行うと、自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

CD OPEN/CLOSE ▲
演奏停止中に押して、CD ふたを開けて
CD を取り出す

▲ MD
押して、**MD を取り出す**

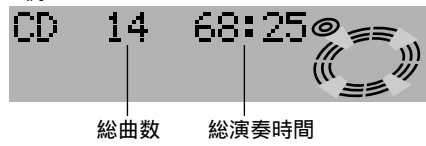
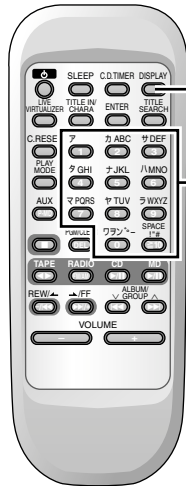
（戻る）　VOL+　（進む）
REW/⏮　ENTER　⏭/FF
VOL–　DOZE
傾けて、**曲を前後にとび越す（スキップ）**

演奏中（または一時停止中）に傾けたまま押さえて、**早送り／早戻しする（サーチ）**
- MP3 の場合、サーチはできません。

▶/II MD
押して、**MD 再生を一時停止する**
- 再開するには、もう一度押す。

▶/II CD
押して、**CD 再生を一時停止する**
- 再開するには、もう一度押す。

■
押して、**演奏を途中で止める**
- 演奏を停止すると総曲数、総演奏時間が表示されます。
- MP3 の場合、総演奏時間は表示されません。

例：CD

総曲数　総演奏時間

DISPLAY
押して、**残り時間やタイトルを表示させる**
- 押すたびに表示窓の表示が切り換わります。
- MP3 の残り時間は表示されません。

ア 1　カ ABC 2　サ DEF 3
タ GHI 4　ナ JKL 5　ハ MNO 6
マ PQRS 7　ヤ TUV 8　ラ WXYZ 9
ワヲン゛゜– 0　SPACE !"# ≧10

押して、**好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）**
- 選んだ曲番から順に再生します。

10 以上の曲番を選ぶには

（例）24：≧10 → 2 → 4　　CD --

100 以上の曲番を選ぶには

（例）235：≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5　　MD ---

CD-R と CD-RW の再生について

CD-DA フォーマットまたは MP3 フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

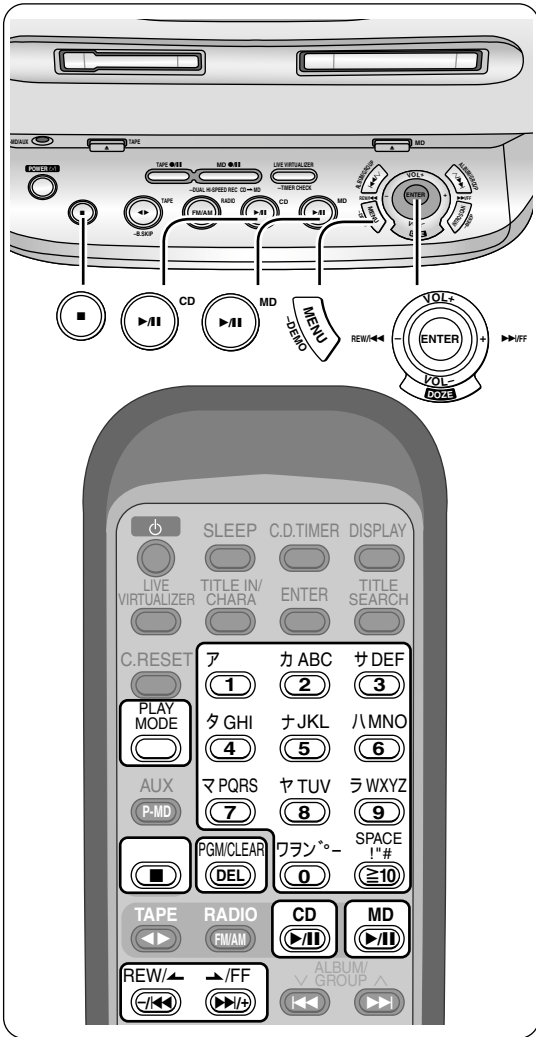
MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

MDLP は音声圧縮技術によって長時間（2 倍または 4 倍）ステレオ録音、再生できる方式です。
録音したときのモード（標準／LP2／LP4）に従って演奏します。
演奏時には、表示部に次のように表示されます。
- 標準時間録音モードで録音した曲のとき：表示なし
- 2 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
- 4 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

MDLP で録音するには（➡ 26 ページ）

CD/MDを再生する

再生

CD/MD のいろいろな再生

■ **プログラムを解除するには**
停止中に、[DEL PGM/CLEAR] を押す。
“PROGRAM CLEAR”が表示され、予約内容が取り消されます。
- ディスクを取り出した場合も解除されます。
- CD の場合は、停電、電源プラグを外した場合も解除されます。

■ **予約内容を確認するには**
停止中に、[−/⏮ REW/ ◀◀] または [⏭/＋ ▶▶ /FF] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

■ **予約の途中で**
●“**PROGRAM FULL**”**と表示されたら**
予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上の予約はできません。
●“**−−：−−**”**と表示されたら**
予約時間が 250 分に達したことを示しています。ただし、続けて予約をすることができます。

お知らせ
- CD でのサーチは、演奏中の曲の中のみです。
- MP3 では、合計演奏時間が表示されません。
- MP3 では、電源を入れ直したりモードを切り換えた場合に、前回とアルバム数やトラック数が異なって認識されることがあります。その場合は“PROGRAM CLEAR”が表示され、予約内容が解除されるので再度予約してください。

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ） リモコンのみ

最大 24 曲まで予約できます。

押して“CD”または“MD”を選ぶ

停止中に、押す

押して曲番を選ぶ

■ **曲番 10 以上を選ぶには**
[≧10] を 1 回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 24 のとき
≧10 → 2 → 4

■ **曲番 100 以上を選ぶには**
[≧10] を 2 回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 235 のとき
≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

この操作をくり返して、曲番を選ぶ

押す
CD ▶/II または MD ▶/II
予約曲を順に演奏して、自動停止します。

■ **演奏を停止するには**
[■] を押す。（予約内容は保持されます）

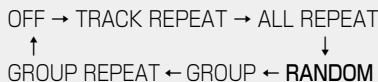
■ **予約を追加するには**
“PROGRAM”が表示されている停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

順不同に聞く(ランダムプレイ)

各曲を 1 回ずつ順不同に演奏します。

リモコンで操作する

押して“CD”または“MD”を選ぶ

停止中に押して、“RANDOM”を選ぶ

RANDOM
RND

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

● “GROUP” と “GROUP REPEAT” はグループ編集している MD でのみ表示されます。

CD [▶/II] **または** MD [▶/II] **押す**

演奏が始まります。

■ **解除するには**
停止中に、[PLAY MODE] を押して “OFF” を選ぶ。

お知らせ

- ランダムプレイ中は、前の曲にスキップすることはできません。
- サーチは、演奏中の曲の中のみです。
- プログラムプレイと同時にはできません。
- 本機では MP3 のランダム再生はできません。
- ランダムプレイ中は、“TRACK REPEAT” や “ALL REPEAT” は選べません。

本体で操作する

① [■] を押して、“CD” または “MD” に切り換える。
② 停止中に [MENU －DEMO] を押す。
③ [REW/|◀◀] または [▶▶|/FF] に傾けて “PLAY MODE” を選び [ENTER] を押す。
④ [REW/|◀◀] または [▶▶|/FF] に傾けて “RANDOM” を選び [ENTER] を押す。
⑤ [▶/II CD] または [▶/II MD] を押す。

■ **解除するには**
停止中に、上記手順 ①～③の後、手順 ④で “OFF” を選び [ENTER] を押す。

演奏をくり返す(リピートプレイ)

TRACK REPEAT(トラック リピート)：1 曲をくり返し演奏します。
ALL REPEAT(オール リピート)：全曲をくり返し演奏します。

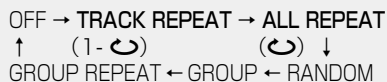
リモコンで操作する

[■] **押して“CD”または“MD”を選ぶ**

PLAY MODE **押して“TRACK REPEAT”または“ALL REPEAT”を選ぶ**

1 曲をくり返す
TRACK REPEAT
1-⟲

全曲をくり返す
ALL REPEAT
⟲

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ (1-⟲) (⟲) ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

● “GROUP” と “GROUP REPEAT” はグループ編集している MD でのみ表示されます。

1 曲をくり返す

ア 1、カ ABC 2、サ DEF 3、タ GHI 4、ナ JKL 5、ハ MNO 6、マ PQRS 7、ヤ TUV 8、ラ WXYZ 9、ワヲン゛゜ー 0、SPACE !"# ≧10

押す
演奏が始まります。
10 以上の曲番を選ぶには
(例) 24 ： ≧10 – 2 – 4
100 以上の曲番を選ぶには
(例) 235 ： ≧10 – ≧10 – 2 – 3 – 5

全曲をくり返す

CD [▶/II] **または** MD [▶/II] **押す**
演奏が始まります。

演奏中に行う場合は、最後の手順は不要です。

■ **解除するには**
停止中に、[PLAY MODE] を押して “OFF” を選ぶ。

■ **好みの数曲をくり返すには(プログラムリピート)**
① [■] を押して、“CD” または “MD” を選ぶ。
② プログラムプレイで演奏を始める。(➡ 左ページ)
③ [PLAY MODE] を押して “ALL REPEAT” を選ぶ。

本体で操作する

① [■] を押して、“CD” または “MD” に切り換える。
② [MENU －DEMO] を押す。
③ [REW/|◀◀] または [▶▶|/FF] に傾けて “PLAY MODE” を選び [ENTER] を押す。
④ [REW/|◀◀] または [▶▶|/FF] に傾けて “TRACK REPEAT” または “ALL REPEAT” を選び [ENTER] を押す。
⑤ 1 曲をくり返す場合のみ：(TRACK REPEAT) [REW/|◀◀] または [▶▶|/FF] に傾けて曲番を選ぶ。
⑥ [▶/II CD] または [▶/II MD] を押す。
演奏中に行う場合は、手順⑤、⑥ は不要です。

■ **解除するには**
停止中に、上記手順 ①～③の後、手順 ④で “OFF” を選び [ENTER] を押す。

CD/MD のいろいろな再生(つづき)

イントロで曲を探して再生 (イントロスキャン)

MP3/MD のみ

MP3 では各アルバム、MD では各グループの先頭曲を約 10 秒間順番に再生します。

押して“CD”または“MD”を選ぶ

停止中に、押す

アルバム/グループの先頭曲を約 10 秒間ずつ再生します
グループ化されていない場合は“NO GROUP”が表示され、元の表示に戻ります

MP3 ALBUM SCAN

MD GROUP SCAN

CD または MD

押す

現在スキャン再生している位置から再生します

MP3 PLAY

または

MD PLAY

■ **イントロスキャンを解除するには**

[■] を押す。“SCAN OFF”が表示されイントロスキャンが解除されます。

■ **前後のアルバム/グループのイントロを聞くには**

[|◀◀/∨ ALBUM/GROUP] または [∧/▶▶| ALBUM/GROUP] を押す。

お知らせ

プログラム・ランダムプレイ設定中は“ERROR”が表示されイントロスキャンできません。

タイトル名を検索して再生(タイトルサーチ)

リモコンのみ **MP3/MD のみ**

MP3 のファイル名または MD のトラック名をカタカナ、アルファベット、数字、記号を入力して検索します。

押して“CD”または“MD”を選ぶ

TITLE SEARCH

停止中に、押す

TITLE SEARCH

タイトルを入力する (➡ 43 ページ)

アルファベットの大文字、小文字やスペースなどは区別して検索されるので、正確に入力します。

■ 例:「ナツ　ベスト」を検索する場合

ナツ ベスト

<正確なタイトルがわからない場合>

- 1 文字で検索する
  例:「ナ」「ツ」「ヘ」「ス」「ト」
  ␣ (空白) だけでは検索できません。
- 1 ～ 3 文字ほどで検索する
  例:「ナツ」「ベス」「スト」「ベスト」

ENTER

押す

検索を始めます

TITLE SEARCH

候補の曲が見つかると

T 12 FIND
ナツ ベスト

さらに曲を探す場合

REW/◀◀ ▶▶/FF

押す

前または次の候補の曲を検索します

CD または MD

押す

検索された曲から再生します

■**解除するには**

[■] または [TITLE SEARCH] を押す。“SEARCH OFF”が表示されタイトルサーチが解除されます。

■**“NOT FIND”が表示されたら**

検索後、候補の曲が見つからなかったことを示しています。再度、[TITLE SEARCH] を押して別の候補の曲名を入力して検索します。

お知らせ

- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルが表示されたときは、[DEL PGM/CLEAR] を押してすべての文字を消してから、新しいタイトルを入力してください。
- 最大 13 文字まで入力できます。濁点 (゛) や半濁点 (゜) も 1 文字になります。
- 検索できるのは 1 曲あたりタイトルの先頭から 31 文字目までです。
- プログラム、ランダム設定中に [TITLE SEARCH] を押すと“ERROR”が表示されタイトルサーチできません。

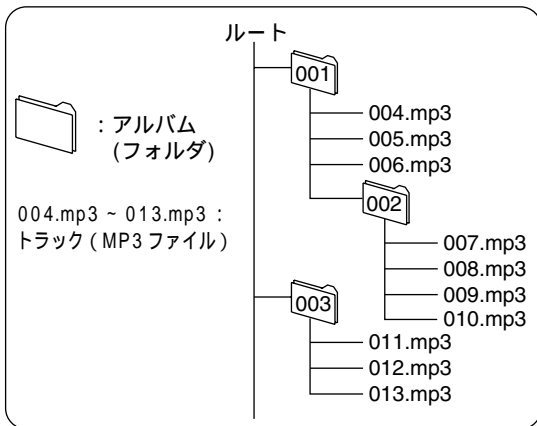
MP3(MPEG Audio Layer3)を再生する

エムペグ オーディオ レイヤー

MP3で記録されたCD-R/RWとCDの違い

- 本機では、パソコン等でフォルダやMP3ファイルに付けた名前をそれぞれ、アルバム名・トラック名として扱います。
- 本機ではMP3のランダム再生はできません。
- 本機ではMP3の早送り・早戻し(サーチ)はできません。

本機で再生できるMP3ファイルを作るためには

- 使用できるフォーマット:ISO9660 level 1 および、level 2
- 好みの順に再生したいときは、フォルダとファイル名の先頭に再生したい順でケタ数を揃えた数字を付けてください。(下図)
  ただし、順番通りに再生できないことがあります。
- MP3ファイルが入っていないフォルダはスキップされます。
- 本機で表示できるようにパソコン等でフォルダやファイルに名前を付ける場合、カタカナ・アルファベット・数字・記号(➡ 43ページ)で付けてください。

お知らせ

- 本機はID3タグに対応していません。
- 本機はマルチセッションに対応しています。
  セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。
- 同一ディスクでMP3とCD-DA(通常の音楽CD)の両方の形式が別のセッションに記録されている場合、最初のセッションに使用されている形式のみ再生します。
- 最大アルバム数256、トラック数999まで再生できます。
  階層の深いフォルダが複数ある場合は、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。
- MDに録音した場合、MP3のファイル名はMDのトラックタイトルになります。
- アルバムプレイは、プログラムプレイと同時にできません。
- タイトルは、本機で表示できる文字のみ最大31文字(半角)まで表示されます。拡張子は表示されません。

アルバムごとに聞く

本機での基本的な操作はCDと同じです。
ここではMP3でのみ可能なもの、または操作方法が異なるものについて説明します。

準備:
[■]を押して"CD"に切り換える。

ALBUM(アルバム):1つのアルバムのみを聞く(アルバムプレイ)
ALBUM REPEAT(アルバム リピート):1つのアルバムをくり返す(アルバムリピート)

リモコンで操作する

押してアルバムを選ぶ

CD ▶/II

押す
演奏が始まります。

■ **解除するには**
停止中に、[PLAY MODE]を押して"OFF"を選ぶ。

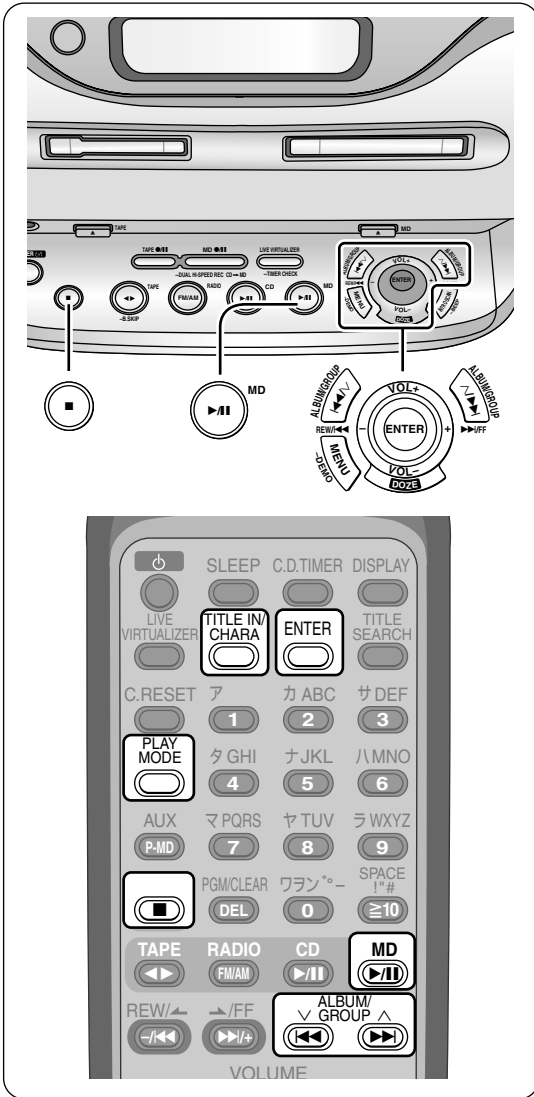
本体で操作する

① 停止中に[MENU －DEMO]を押す。
② [REW/⏮]または[⏭/FF]に傾けて"PLAY MODE"を選び [ENTER]を押す。
③ [REW/⏮]または[⏭/FF]に傾けて"ALBUM"または"ALBUM REPEAT"を選び[ENTER]を押す。
④ [⏮/∨ ALBUM/GROUP]または[∧/⏭ ALBUM/GROUP]を押してアルバムを選ぶ。
⑤ [▶/II CD]を押す。

■ **解除するには**
停止中に、上記手順①～②の後、手順③で"OFF"を選び[ENTER]を押す。

■ **アルバムを前後にとび越すには(アルバムスキップ)**
[⏮/∨ ALBUM/GROUP]または[∧/⏭ ALBUM/GROUP]を押して、聞きたいアルバムを選ぶ。

MD をグループで聞く

MD に録音した曲を好みのひとかたまりのグループとして管理できます。
最大 99 個のグループがつくれます。
CD から丸録り（➡ 33 ページ）すると録音された全曲をグループとして扱います。
(UTOC エリアの空き状況により異なります。)

お知らせ

- グループにできるのは、連続した曲（例： 1 曲目〜10 曲目）のみです。「3 曲目と 7 曲目と 9 曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- 本機でグループ編集を行った MD を、さらに、グループ機能未対応の機種で編集操作を行った場合、グループ管理情報が使えなくなる可能性があります。
- 本機でグループ編集を行った MD を、グループ機能未対応の機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。
- プログラム、ランダム、グループプレイ設定中は、グループ編集できません。各モードを解除してください。MD が誤消去防止になっている場合もグループ編集できません。

曲をグループにまとめる

準備：
① 編集したい MD を入れる。(➡ 12 ページ)
② [■]を押して“ MD ”に切り換える。

例）トラック 3 から 5 までをひとつのグループにする

押す

① 傾けて“ GROUP SET? ”を選び
GROUP SET?
② [ENTER] を押す
--?-----

初めてグループにする MD の場合は“ GROUP SET? ”しか選べません。

リモコン

グループの名前を付ける（➡ 43 ページ）

“ UTOC Writing ”の点滅後、グループ編集が完了します。

■ 途中で止めるには
[■] を押す。

グループ名を変更するには

リモコンのみ

押してグループを選ぶ

TITLE IN/CHARA **押す**

グループの名前を付ける(➡ 43 ページ)

ENTER **押す**

“UTOC Writing” の点滅後、編集が完了します。

お知らせ

プログラム、ランダム、1 曲リピート、グループプレイ設定中は、タイトル入力できません。各モードを解除してください。

グループを解除する

●ひとつのグループを解除するには

① [MENU –DEMO] を押す。
② [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “EDIT MODE” を選び [ENTER] を押す。
③ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “GROUP?” を選び [ENTER] を押す。
④ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “1-RELEASE?” を選び [ENTER] を押す。
⑤ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて解除したいグループを選び [ENTER] を押す。
⑥ [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” が表示されます。

●全グループを解除するには

① [MENU –DEMO] を押す。
② [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “EDIT MODE” を選び [ENTER] を押す。
③ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “GROUP?” を選び [ENTER] を押す。
④ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “ALL RELEASE?” を選び [ENTER] を押す。
⑤ [ENTER] を押す。
“UTOC Writing” が表示されます。

■ 途中で解除するには

[■]または [MENU –DEMO] を押す。

お知らせ

プログラム、ランダム、グループプレイ設定中は、グループを解除できません。各モードを解除してください。

グループごとに聞く

まず、グループ編集を行ってください。(➡ 左ページ)

準備：

[■]を押して “MD” に切り換える。

GROUP（グループ）： 1 つのグループのみを聞く(グループプレイ)

GROUP REPEAT（グループ リピート）： 1 つのグループをくり返す(グループリピート)

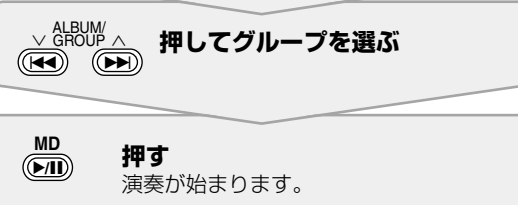
リモコンで操作する

PLAY MODE **停止中に、押して“GROUP”または“GROUP REPEAT”を選ぶ**

グループプレイ GROUP

グループリピート GROUP REPEAT

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT
↑ ↓
GROUP REPEAT ← GROUP ← RANDOM

- プログラムを設定している場合は “GROUP”・“GROUP REPEAT” は選べません。
- “GROUP” と “GROUP REPEAT” はグループ編集している MD でのみ表示されます。

押してグループを選ぶ

MD ▶/II **押す**

演奏が始まります。

■ 解除するには

停止中に、[PLAY MODE] を押して “OFF” を選ぶ。

本体で操作する

① 停止中に [MENU –DEMO] を押す。
② [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “PLAY MODE” を選び [ENTER] を押す。
③ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて “GROUP” または “GROUP REPEAT” を選び [ENTER] を押す。
④ [⏮/∨ ALBUM/GROUP] または [∧/⏭ ALBUM/GROUP] を押してグループを選ぶ。
⑤ [▶/II MD] を押す。

■ 解除するには

停止中に、上記手順 ①～② の後、手順③で、“OFF” を選び、[ENTER] を押す。

■ グループを前後にとび越すには (グループスキップ)

[⏮/∨ ALBUM/GROUP] または [∧/⏭ ALBUM/GROUP] を押して、聞きたいグループを選ぶ。

テープを再生する

はじめてテープを使用する場合は、56 ページ「テープについて」をお読みください。

● テープのたるみを取る。

演奏できるテープ

ノーマル ポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイ ポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	○
メタル ポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ	○

● テープの種類は自動的に判別されます。

1

押して
電源を入れる

2

テープを入れる

● 必ず電源を入れてからテープを挿入してください。
● テープの再生面は自動的に上の面“ ▶ ”になります。

3

押す
演奏が始まります。

TAPE 213

押すたびに ◀ ⇄ ▶

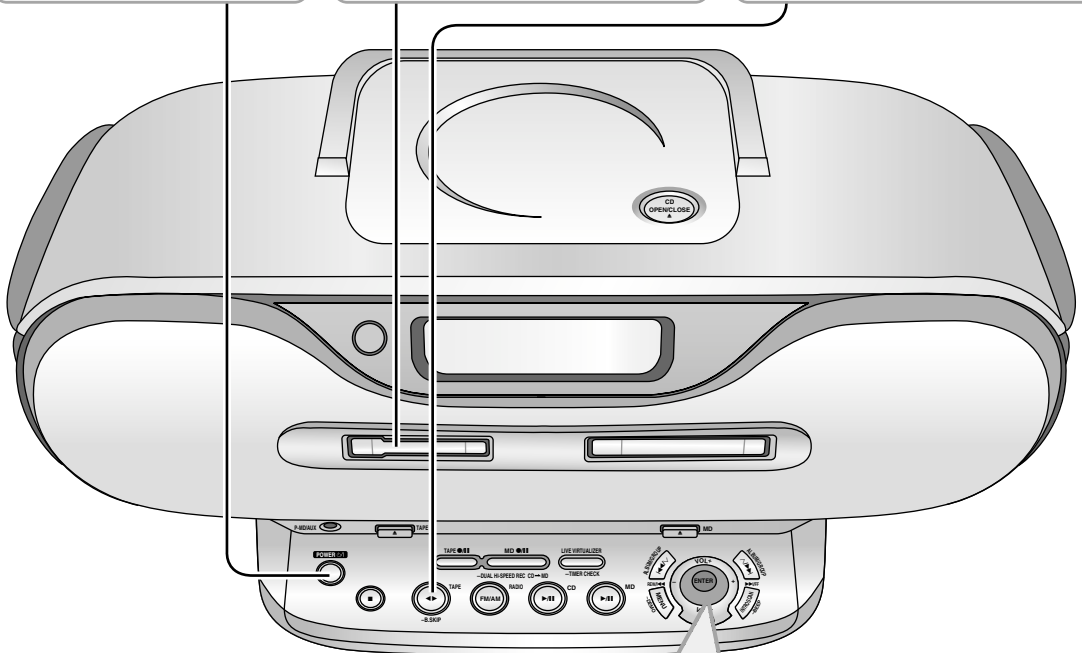
▶：上の面から演奏
◀：下の面から演奏

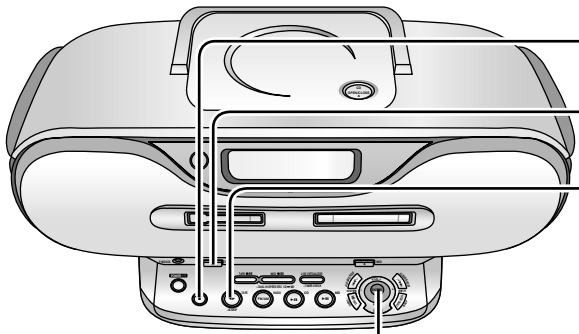
音量を調節する

REW/⏮ VOL+ ENTER VOL– DOZE ⏭/FF

傾けて
調節する

VOL 20

0（最小） 50（最大）

お知らせ

すでにテープが入っているときには、手順 3 から行うと、自動的に電源が入り、電源を切る前に進んでいた方向で演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

押して、**演奏を途中で止める**

TAPE 押して、**テープを取り出す**

TAPE

曲間（無音部）をとばして聞く（ブランクスキップ 機能）

–B.SKIP

テープモード時に

“ B.SKIP PLAY ”と表示されるまで**押し続ける**

B.SKIP PLAY

- 演奏から約 8 秒以上の無音状態になると、テープを早送りにして次の曲の頭から演奏します。

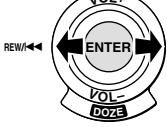
（早送り時の表示） BLANK SKIP

- リモコンの場合は ［◀▶ TAPE ］を押し続ける。

■ **解除するには**

［◀▶ TAPE ー B.SKIP］を押し続ける。
“ B.SKIP OFF ”が表示されます。
テープが停止しても解除されます。

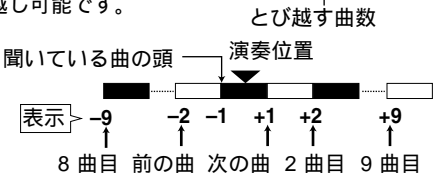
（戻る） （進む） 停止中に傾けて、**巻戻し/早送りする**

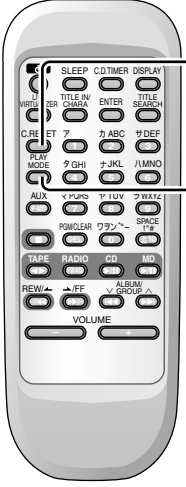
REW/⏮ ENTER ⏭/FF VOL+ VOL– DOZE

Tape Program Sensor-TPS 機能（テープ プログラム センサー）

演奏中に傾けて（とび越す曲数分）、**曲の頭出しをする**

- 次曲方向 9 曲、前曲方向 8 曲まで飛び越し可能です。

TPS +1 ▶▶

とび越す曲数

■ **途中で再生に戻るには**

［◀▶ TAPE ー B.SKIP］を押す。

C.RESET 押して

テープカウンターをリセットする

TAPE 000

PLAY MODE

テープモード時に

押して

リバースモードを選ぶ

ONE WAY

押すたびに
⇄（ONE WAY）：
片面だけ演奏して自動停止
⇄）（BOTH WAYS）：
上の面 → 下の面を演奏して自動停止
（⇄）（REPEAT）：
両面をくり返し演奏

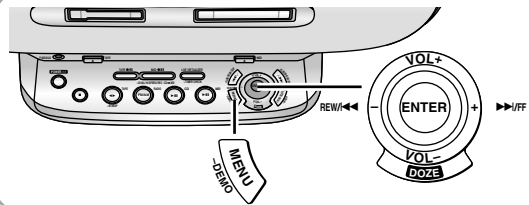
お知らせ

ブランクスキップ機能：

- 曲間に雑音があるとき、曲中に無音に近い部分があるときには、正しく動作しないことがあります。
- テープ両面のくり返し演奏モードでのブランクスキップは往復 8 回で停止します。
- 全体が無音のブランクテープではブランクスキップしません。
- ブランクスキップ演奏中に MD 録音をするとブランクスキップは解除されます。

TPS 機能：

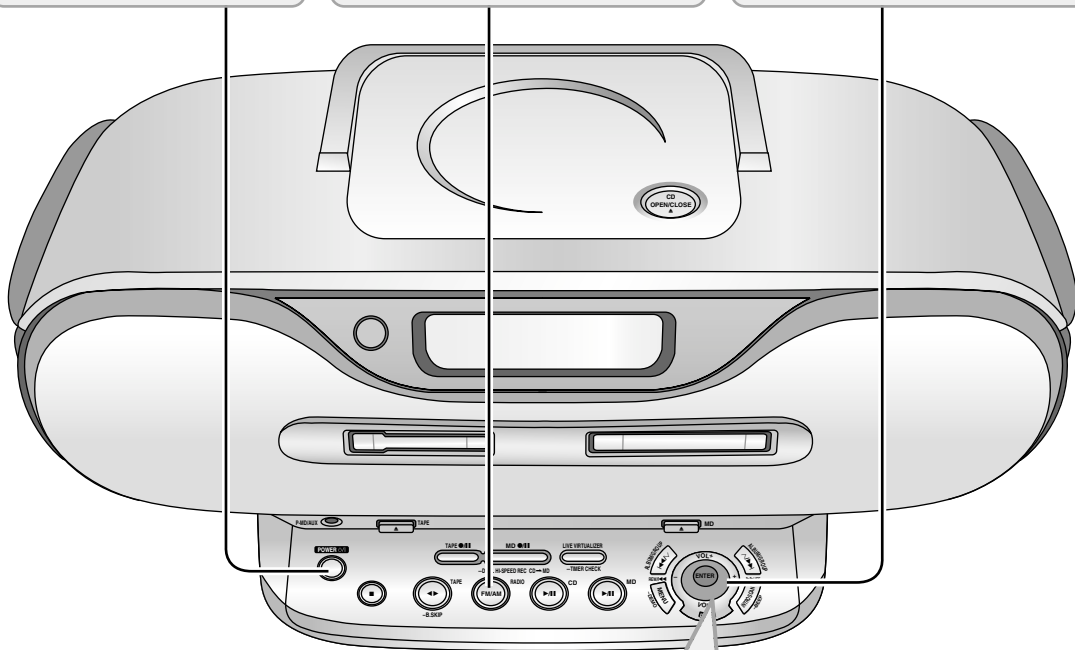
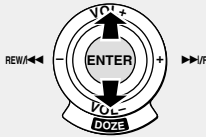
TPS 機能は、曲間の約 4 秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。

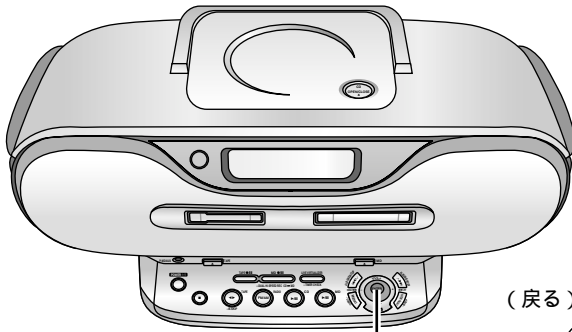
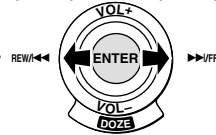
- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

■ **本体でリバースモードを選ぶには**

① ［MENU ーDEMO］を押す。
② ［REW/⏮］または［⏭/FF］に傾けて、“ PLAY MODE ” を選び、［ENTER］を押す。
③ ［REW/⏮］または［⏭/FF］に傾けて、“ ONE WAY ”、“ BOTH WAYS ”または“ REPEAT ” を選び、［ENTER］を押す。

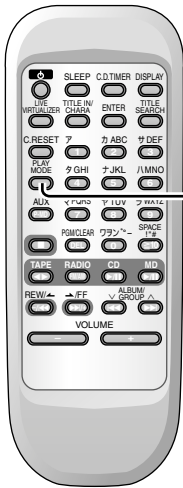
ラジオを聞く

準備：
アンテナの接続と調整をする。（➡ 7 ページ）

テレビ音声（1 〜 3 チャンネルのみ）は FM で受信します。

お知らせ

- AM とテレビの音声はモノラルです。
- 受信しにくいときは、本機を窓際などに設置して、アンテナの向き、長さを調整してください。（➡ 7 ページ）
- AM 受信中にテープを取り出したり、テープの録音操作（録音、停止や一時停止）を行うと音がとぎれます。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。

**自動選局する
（オートチューニング）**

周波数が動き始めるまで傾けたままにして、動き始めたら指を離す

AUTO TUNING

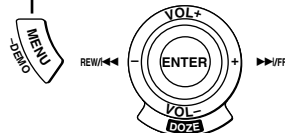
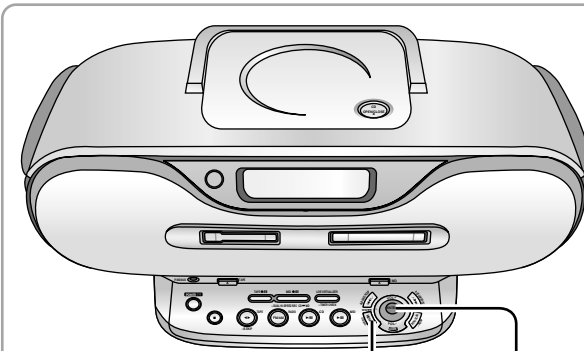
放送局を受信すると、自動停止します。好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

PLAY MODE

押して、**受信モードを切り換える**

F M 88.1 MHz
MONO

MONO

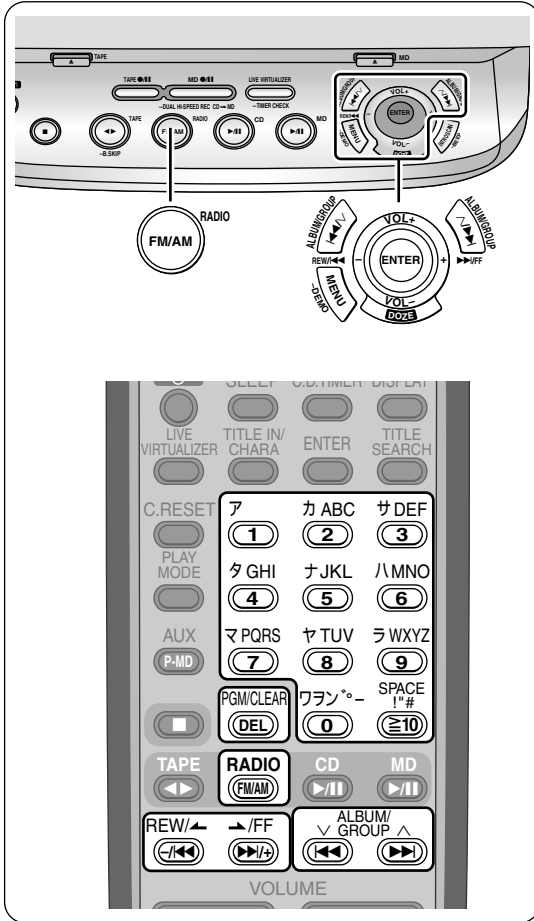
押すたびに
MONO ⇄ 消灯（AUTO STEREO）
（強制モノラル） （自動判別）

FM ステレオ放送で雑音が多いときは " MONO " を選んでください。
（FM 76.0 ～ 90.0 MHz 受信時のみ）
- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は " MONO " を消灯させておいてください。

■本体で受信モードを切り換えるには
① ［MENU －DEMO］を押す。
② ［REW/I◀◀］または［▶▶I/FF］に傾けて、" PLAY MODE " を選び、［ENTER］を押す。
③ ［REW/I◀◀］または［▶▶I/FF］に傾けて、" AUTO STEREO "または" MONO "を選び、［ENTER］を押す。

放送局を記憶させて聞く

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
- FM、AM とも、12 局ずつ記憶させることができます。

エリアバンク（2002 年 7 月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松・岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	31	松山
12	甲府	32	高知
13	松本	33	福岡
14	静岡	34	北九州
15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	35	佐賀
16	津	36	長崎
17	新潟	37	大分
18	富山	38	熊本
19	金沢	39	宮崎
20	福井	40	鹿児島
		41	那覇

記憶させる

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

好みの局を記憶する（マニュアルメモリー）

リモコンのみ

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶することができます。

RADIO (FM/AM)
押して"FM"または"AM"を選ぶ

F M 76.0 MHz

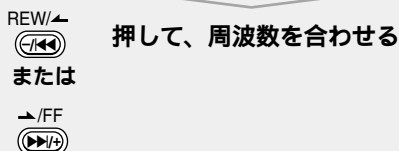
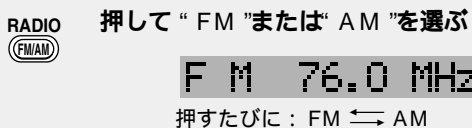
押すたびに：FM ⇄ AM

REW/◀ (–/⏮) または ▶/FF (⏭/+)
押して、周波数を合わせる

PGM/CLEAR (DEL)
押す

F M 80.2 MHz
PROGRAM ch--

10 秒以内
押してチャンネルを選ぶ

F M 80.2 MHz
PROGRAM ch 7

10 以上のチャンネルを選ぶには

（例）12：(≧10) → (1) → (2)

続けて記憶させるときは、2 つ前の手順「周波数を合わせる」に戻る

記憶させた放送局を聞く

本体で操作する

押して"FM"または"AM"を選ぶ

F M 76.0 MHz

押すたびに：FM ⇄ AM

押してチャンネルを選ぶ

F M 80.2 MHz
ch 7

エリアバンクで記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

リモコンで操作する

RADIO (FM/AM)
押して"FM"または"AM"を選ぶ

F M 76.0 MHz

押すたびに：FM ⇄ AM

または

押して チャンネルを選ぶ

F M 80.2 MHz
ch 7

数字ボタンで 10 以上のチャンネルを選ぶには

（例）12：(≧10) → (1) → (2)

エリアバンクで記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

CD を MD に録音する（シンクロ録音） 高速録音可能

はじめて MD を使用する場合は、55 ページ「MD について」をお読みください。

準備：

- 電源を入れる。
- 録音用 MD を入れる。(➡ 12 ページ)
  （MD モードのとき、何も録音されていない MD を入れると、“ BLANK DISC ”と表示されます）
- CD を入れる。(➡ 12 ページ)

1

押して
“ CD ”に切り換える

CD 14

2

押す

もう 1 度押すと元の表示に戻ります。

3

①傾けて
“ LP MODE ”を選び

CD 14
LP MODE

②**[ENTER]を押す**

4

①傾けて
LP モードを選び
（右ページ参照）

CD 14
LP2 MODE

傾けるたびに

→LP MODE OFF→LP2 MODE↔LP4 MODE→LP MODE OFF

②**[ENTER]を押す**

5

押して
録音を始める

CD→MD REC

高速録音する場合は“ HIGH-SPEED ”が表示されるまで押し続ける

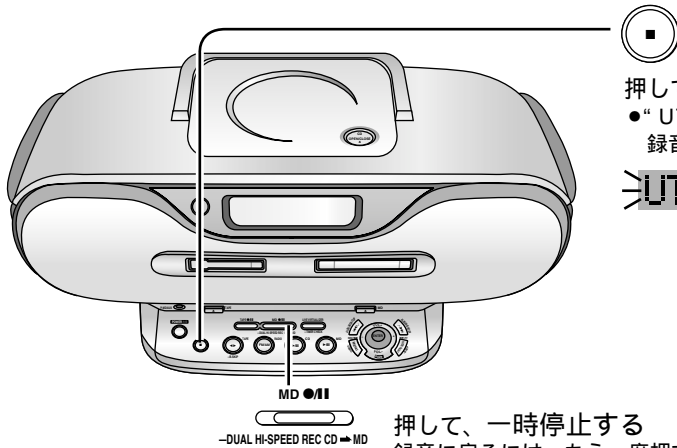
CD の演奏が終わると MD も自動停止します。

お願い

- 録音中、一時停止中、または CD を入れて CD ふたを閉めた直後に、CD ふたを開けないでください。CD がターンテーブルから外れて、CD に傷が付く恐れがあります。
- ハンドルを倒した状態で、CD ふたを開けてください。

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響されません。
- MD の誤消去防止つまみが開いていると録音できません。(➡ 55 ページ)
- 本機で長時間モノラル録音はできません。
- MP3 を録音すると自動的にアナログ録音になります。

CDをMDに録音する（シンクロ録音）

押して、**録音を途中で止める**
- " UTOC Writing " の点滅後に録音が停止します。

UTOC Writing

押して、**一時停止する**
録音に戻るには、もう一度押す
- 一時停止すると、録音された音がとぎれます。
- 一時停止すると、トラックマークがひとつ付きます。
- MP3 を録音する場合は一時停止できません。

DISPLAY

数回押して、**MD の残り時間を表示させる**

MD Rem 53:01

- 押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。MD の残り時間が表示されるまで数回押してください。

演奏中に押して、**その曲の頭から録音する（おっかけ録音）**
曲の頭から最後の曲まで録音すると、自動的に停止します。
演奏を一時停止させてから録音すると、その位置からの録音になります。
1 曲のみのおっかけ録音をする場合は「CD の 1 曲をねらい録りする」(➡ 36 ページ) で " 1-REC? "を選び、[ENTER]を押した後、CD の好みの 1 曲を演奏中に [MD ●/II ―DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD] を押してください。

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

本機は MD の長時間録音用フォーマット MDLP に対応しています。ステレオで 2 倍（LP2 モード）、4 倍（LP4 モード）の長時間録音ができます。

LP モードディスプレイ表示

LP2 MODE
LP2

LP MODE OFF：標準時間録音モード（表示なし）
MD ディスクに記載されている時間で録音可能

LP2 MODE：2 倍長時間録音モード（LP2）
MD ディスクに記載されている 2 倍の時間で録音可能

LP4 MODE：4 倍長時間録音モード（LP4）
MD ディスクに記載されている 4 倍の時間で録音可能

- MD 録音中の LP モードの変更はできません。
- 本機で 2 倍長時間録音または 4 倍長時間録音した曲は、MDLP に対応した機器以外では演奏できません。
- MDLP に対応していない機器で演奏すると、曲タイトルの先頭に" LP ： "が表示され、無音で再生されます。
- 4 倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、標準時間録音または 2 倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

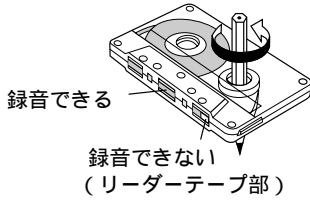
アナログ録音について

●" SCMS CAN NOT COPY "と表示されたら
CD-R や CD-RW から録音しようとすると、デジタル録音が制限されるために、このメッセージが出ることがあります。この場合下記の設定を行い、アナログ録音にしてください。
ただし、高速録音(➡ 32 ページ) はできません。
- MP3 は自動的にアナログ録音になります。

① [■] を押す。
② [MENU ―DEMO] を押す。
③ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて、" ANALOG-REC "を選び、[ENTER] を押す。
④ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて、" ANALOG REC? " を選び、[ENTER] を押す。
⑤ [▶/II MD ―DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD] を押す。
録音が始まります。
アナログ録音終了後は、自動的にデジタル録音モードに戻ります。

CD をテープに録音する

はじめてテープを使用する場合は、56 ページ「テープについて」をお読みください。

● リーダーテープ部を巻きとる

録音できるテープ

テープ	
NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	×

● テープの種類は自動的に判別されます。
● ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

準備：
● 電源を入れる。
● 録音用テープを入れる。(➡ 20 ページ)
● CD を入れる。(➡ 12 ページ)

1 PLAY MODE

テープモード時に （他のモード時は [■] を押して "TAPE"を選ぶ）

押して
リバースモードを選ぶ

押すたびに：⇄ → ⇄) → (⇄)

⇄ (ONE WAY)：片面だけ録音して自動停止
⇄) (BOTH WAYS)、(⇄) (REPEAT)：上の面→下の面を録音して自動停止

2

押して
"CD"に切り換える

CD 14 68:25

3 TAPE ●/II

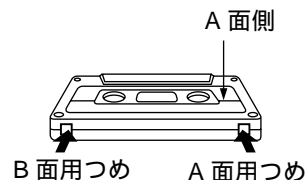
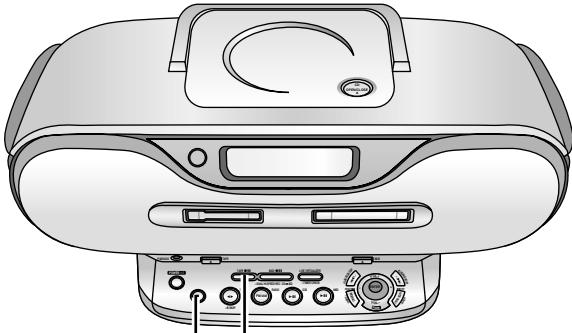
押して
録音を始める

手順 1 で(⇄)を選んでいると、⇄)に変わります。

CD→TAPE REC

CD の演奏が終わるとテープも自動停止します。

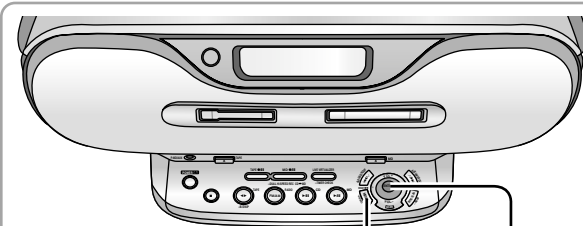
お知らせ

● 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響されません。
● ツメの折れたテープでは録音できません。(➡ 56 ページ)

押して、**一時停止する**
録音に戻るには、もう一度押す
● 一時停止すると、録音された音がとぎれます。

演奏中に押して、**その曲の頭から録音する（おっかけ録音）**
曲の頭から最後の曲まで録音すると、自動的に停止します。
演奏を一時停止させてから録音すると、その位置からの録音になります。
1曲のみのおっかけ録音をする場合は「CDの1曲をねらい録りする」(➡ 36 ページ)で“1-REC?”を選び、[ENTER]を押した後、CDの好みの1曲を演奏中に［TAPE ●/❚❚］を押してください。

押して、**録音を途中で止める**

数回押して、**テープカウンターを表示させる**

テープカウンターを表示させた状態で
押して、**テープカウンターをリセットする**

■ **本体でリバースモードを選ぶには（テープモード時）**
① [MENU –DEMO]を押す。
② [REW/I◀◀]または[▶▶I/FF]に傾けて、“PLAY MODE”を選び、[ENTER]を押す。
③ [REW/I◀◀]または[▶▶I/FF]に傾けて、“ONE WAY”、“BOTH WAYS”または“REPEAT”を選び、[ENTER]を押す。

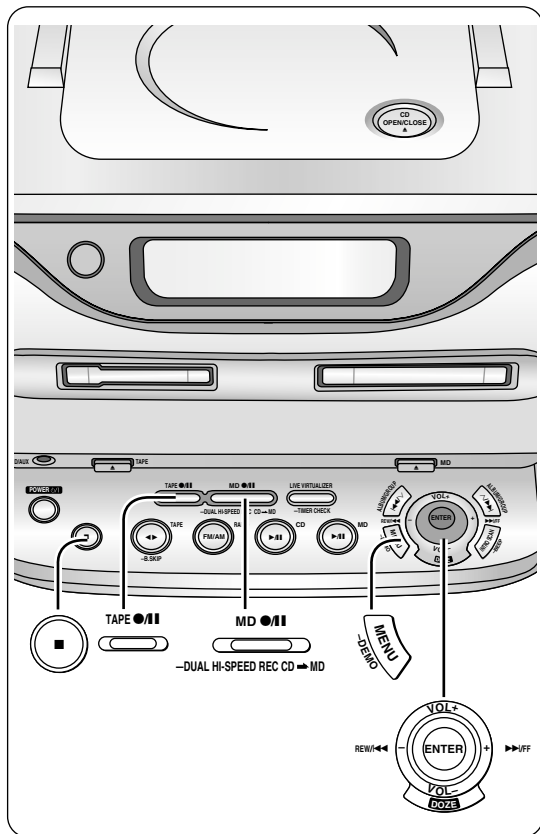
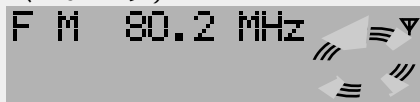
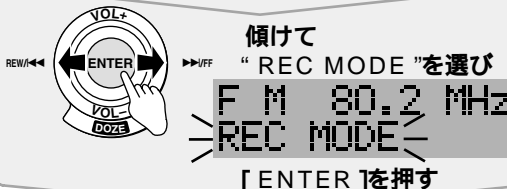
お願い
● 録音中、一時停止中、またはCDを入れてCDふたを閉めた直後に、CDふたを開けないでください。CDがターンテーブルから外れて、CDに傷が付く恐れがあります。
● ハンドルを倒した状態で、CDふたを開けてください。

ラジオを MD に録音する

準備：
- 電源を入れてから録音用 MD、またはテープを本体に入れる。
- 必要に応じて MD の長時間（LP）モードを選ぶ。（➡ 26 ページ）
- 必要に応じて テープのリバースモードを選ぶ。（➡ 28 ページ）

ラジオ→ MD

ラジオ（またはテレビ）放送を受信する
（➡ 22、25 ページ）

押す

① **傾けて “ REC MODE ”を選び**

② **[ENTER] を押す**

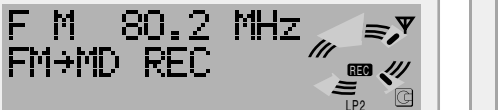
① **傾けて録音モードを選び**
（➡ 左下「録音モードについて」）

MANUAL? ⟷ TURN BACK?
↕ ↕
TURN/TIME? ⟷ TIME MARK?

② **[ENTER] を押す**

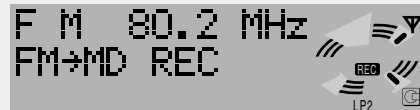
録音する

MANUAL、TIME MARK 選択時は

押す
録音が始まります。

録音する

TURN BACK, TURN/TIME 選択時は

① **押す**
録音待機状態になります。

② **押す**
録音が始まります。

録音モードについて（MD に録音時）

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。トラックマークは付きません。 **ラジオ→ MD** **テープ→ MD**

TURN BACK（ターンバック）：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。 **ラジオ→ MD**

TIME MARK（タイムマーク）：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。 **ラジオ→ MD** **テープ→ MD**

TURN/TIME（ターンタイム）：数秒前の音から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。 **ラジオ→ MD**

AUTO MARK（オートマーク）：テープの曲間を検知してトラックマークを記録します。 **テープ→ MD**

お願い

AM 放送を録音するときは AM ループアンテナと本機をできる限り離してください。近づけるとノイズが入ることがあります。

■ 途中で止めるには
[■] を押す。

■ 一時停止するには
[MD ●/II ー DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD] を押す。トラックマークがひとつ付きます。

お知らせ

- エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。
- 本機で長時間モノラル録音はできません。
- AM 放送を MD に録音または録音待機中は、テープを取り出せません。

ラジオをテープに録音する

ラジオ→テープ

ラジオ（またはテレビ）放送を受信する
（➡ 22、25 ページ）

押す
録音が始まります。

■ **途中で止めるには**
[■] を押す。

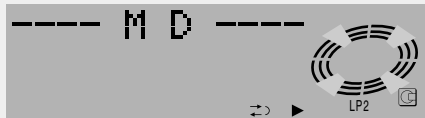
■ **一時停止するには**
[TAPE ●/❚❚] を押す。

MD をテープに録音する

MD →テープ

MD を入れて

押しで“ MD ”に切り換える

押す
録音が始まります。

■ **途中で止めるには**
[■] を押す。

■ **一時停止するには**
[TAPE ●/❚❚] を押す。

■ **演奏中の曲の頭から録音する（おっかけ録音）**
演奏中に [TAPE ●/❚❚] を押す。
その曲の頭から最後の曲まで録音し、自動的に停止します。
演奏を一時停止させてから録音すると、その位置からの録音になります。
1 曲のみのおっかけ録音をする場合は「MD の 1 曲をねらい録りする」(➡37 ページ) で“ 1-REC? ”を選び [ENTER]を押した後、MD の好みの 1 曲を演奏中に [TAPE ●/❚❚] を押してください。

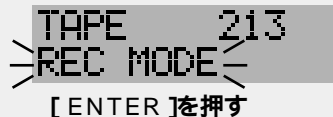
テープを MD に録音する

テープ→ MD

テープを入れて

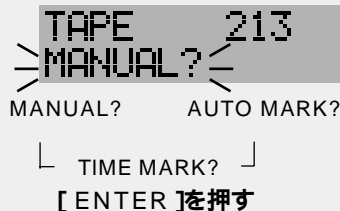
押しで“ TAPE ”に切り換える

押す

① **傾けて**
“ REC MODE ”を選び

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて**
録音モードを選び
（➡ 左ページ「録音モードについて」）

MANUAL? ⟷ AUTO MARK?
↑ ↓
→ TIME MARK? ←

② **[ENTER] を押す**

MD ●/❚❚
—DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD

押す
録音が始まり、終了すると停止します。

TAPE 213
TAPE→MD REC

■ **途中で止めるには**
[■] を押す。

■ **一時停止するには**
● [MD ●/❚❚ ー DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD] を押す。トラックマークがひとつ付きます。
● AUTO MARK モードでは一時停止できません。

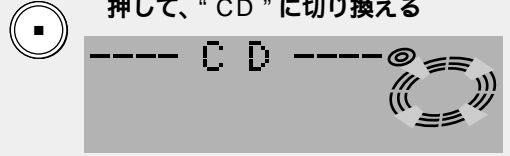
お知らせ
● AUTO MARK モードの場合、テープの内容によってはトラックマークが正しく付かないことがあります。
● マイクを接続していると、トラックマークが正しく付かないことがあります。
● AUTO MARK モードでテープをリーダーテープ部から録音すると、約 2 秒の不用な曲が MD に記録される場合があります。「トラックイレース」(➡ 39 ページ）で消してください。
● 本機で長時間モノラル録音はできません。

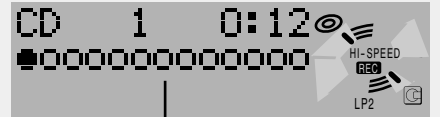
CDからMDに高速録音する

準備：
- 電源を入れてから録音用 MD、またはテープを本体に入れる。
- 必要に応じて MD の長時間（LP）モードを選ぶ。（➡ 26 ページ）
- 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。（➡ 28 ページ）

CD ➡ MD

CD から MD へ最大 4 倍速での録音が可能です。これにより、74 分のディスクなら約 23 分で録音が完了します。
ディスクや条件によっては、4 倍速にならない場合があります。

CD を入れて
押して、“ CD ”に切り換える

“ HIGH-SPEED ”が表示されるまで押し続ける

録音が始まり、全曲の録音が終了すると停止します。確認音（ビープトーン）が約 10 秒鳴ります。
- 確認音は [ENTER] などを押して止めます。

残量表示
（録音終了時にすべてが表示されます。）

■ 録音を途中で解除するには
[■] を押す。

■ 確認音の切/入を切り換えるには
CD モード時に[INTRO SCAN －BEEP]を押し続ける。
押し続けるたびに
BEEP ON（入） ⇄ BEEP OFF（切）

お知らせ
- 録音終了時の確認音の音量は調節できません。
- ラジオ、P-MD／AUX 端子に接続した外部機器など、本機の CD 以外からの高速録音はできません。
- 高速録音中の音をモニターすることはできません。音量を調整すると“ MUTING ”が表示されます。
- 高速録音中に一時停止はできません。
- CD によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
- MP3 は高速録音できません。

高速録音の制限について

この製品の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用していますので以下の制限があります。

- 高速録音終了後、約 74 分間は、同じ CD からの高速録音はできません。
- 高速録音を途中で止めた後、約 74 分以内に、それぞれ異なる 24 枚の CD を高速録音できますが、25 枚目の高速録音はできません。
- メモリーをリセット（初期化）（➡ 61 ページ）しても、約 74 分間は、高速録音できません。

■“ PLEASE WAIT ○○ min. ” と表示されたら
○○分、待ってから再度高速録音するか、シンクロ録音（➡ 26 ページ）を行ってください。

■“ HIGH －SPEED CAN NOT REC ”と表示されたら
プログラム、リピート、ランダムなどの高速録音はできません。

高速録音できる録音の種類

録音の種類	可否
シンクロ録音（➡ 26 ページ）	○
丸録り	○
プログラム録音	×
1 曲をねらい録り	○
アルバムを録音する	×

丸録りする（AUTO REC）

CD の全曲を MD またはテープに自動で録音します。
- 録音前に全曲入るかを確認することができます。
- MD に録音された全曲はひとつのグループになります。

CD の全曲を MD に丸録りする

CD → MD　(高速録音可能)

CD を入れて

押して“ CD ”に切り換える

――― C D ―――

押す

① **傾けて“ REC MODE ”を選び**

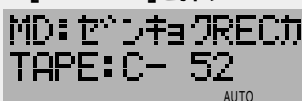
CD 14 68:25
REC MODE

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて“ AUTO REC? ”を選び**

CD 14 68:25
AUTO REC?

② **[ENTER] を押す**

MD:ゼンキョクRECカ
TAPE:C- 52
AUTO

- MD に全曲入らないときは、録音できない曲番と録音曲数（繰り返し）が表示されます。
  録音できない曲番を再確認するには、リモコンの [DISPLAY] を押してください。

MD ●/II
–DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD

押す（高速録音のときは“ HIGH-SPEED ”が表示されるまで押し続ける）
録音が始まり、終了すると停止します。
（“ AUTO REC ” は解除されます）

■ 途中で止めるには

[■] を押す。（“ AUTO REC ”は解除されます）

お知らせ

- 丸録り中は、録音を一時停止できません。
- 丸録りしても、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- CD によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
- MP3 は丸録りできません。
- MD に全曲入らない場合、録音できない曲番と録音曲数が表示されます。この表示中に LP2/LP4 モードに切り換えることで（➡ 26 ページ、手順 2 ～ 4）全曲丸録りできる場合があります。

CD の全曲をテープに丸録りする

CD →テープ

CD を入れて

押して“ CD ”に切り換える

押す

① **傾けて“ REC MODE ”を選び**

② **[ENTER] を押す**

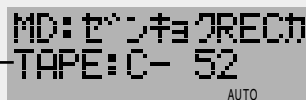
① **傾けて“ AUTO REC? ”を選び**

② **[ENTER] を押す**

- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

MD:ゼンキョクRECカ
TAPE:C- 52
AUTO

TAPE ●/II

押す
（テープは自動的に巻き戻されます）
録音が始まり、終了すると停止します。（“ AUTO REC ”は解除されます）

■ 途中で止めるには

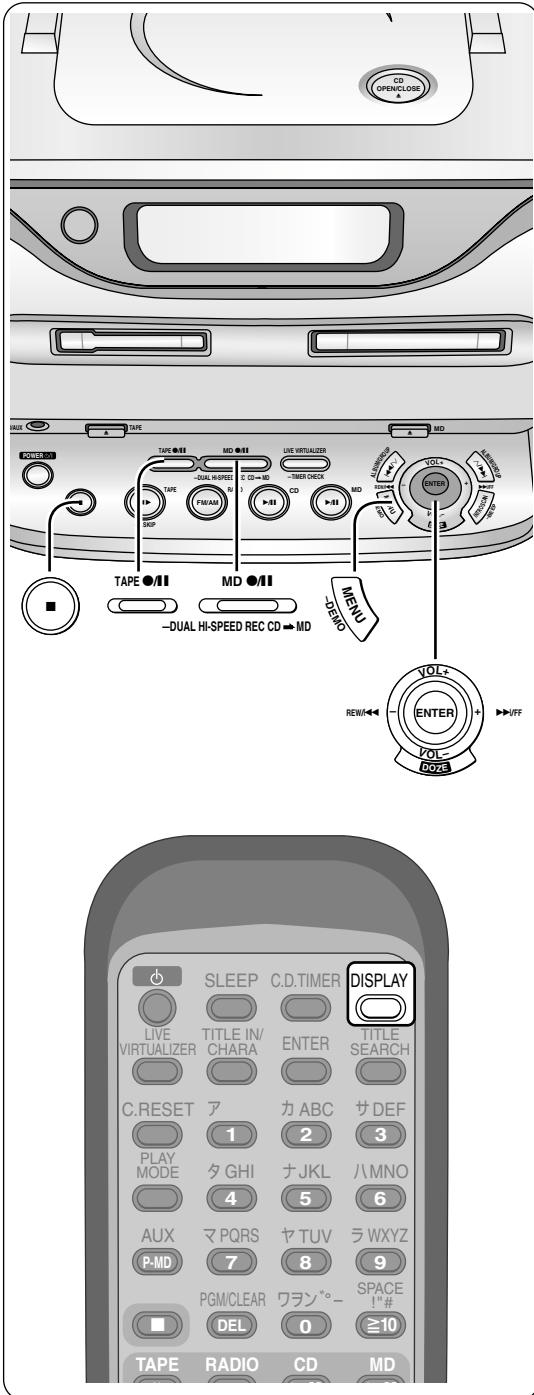
[■] を押す。（“ AUTO REC ”は解除されます）

お知らせ

- 丸録り中は、録音を一時停止できません。
- テープは自動的に巻き戻され、約 10 秒間、無音録音した後、1 曲目から録音します。録音済みテープは上書きされます。
- テープの上の面の最後で曲がとぎれた場合は、下の面にその曲を初めから録音します。
- テープ反転直前にリーダーテープより短い曲があれば、その曲は録音されません。
- MP3 は丸録りできません。

丸録りする(AUTO REC)(つづき)

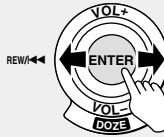
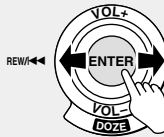
（ルビ：オート レック）

準備：
- 電源を入れてから録音用 MD、またはテープを本体に入れる。
- 必要に応じて MD の長時間（LP）モードを選ぶ。（➡ 26 ページ）
- 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。（➡ 28 ページ）

MD の全曲を自動で録音します。
- 録音前に全曲入るかを確認できます。

MD の全曲をテープに丸録りする

MD →テープ

MD を入れて

押す

- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

TAPE ●/II

押す
（テープは自動的に巻き戻されます）
録音が始まり、終了すると停止します。（“ AUTO REC ”は解除されます）

■ 途中で止めるには

[■] を押す。（“ AUTO REC ”は解除されます）

お知らせ
- 丸録り中は、録音を一時停止できません。
- “ C ーーーー ”と表示されたら録音に必要なテープの長さが 120 分以上であることを表しています。
- テープは自動的に巻き戻され、約 10 秒間、無音録音した後、1 曲目から録音します。録音済みテープは上書きされます。
- テープの上の面の最後で曲がとぎれた場合は、下の面にその曲を初めから録音します。
- テープ反転直前にリーダーテープより短い曲があれば、その曲は録音されません。

好みの曲を予約して録音する

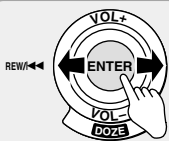
CD の好みの曲を予約して録音する（プログラム録音）

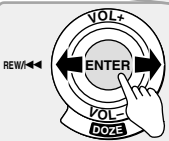
CD → MD　**CD →テープ**

CD を入れて
押しで"CD"に切り換える

------ C D ------

録音したい曲を予約する
（➡ 14 ページ）

押す

① 傾けで"REC MODE"を選び

REC MODE

② [ENTER] を押す

① 傾けて "AUTO REC?"を選び

AUTO REC?

② [ENTER] を押す

- MD に全曲入らないときは、録音できない曲番表示と録音曲数（繰り返し）が表示されます。
  録音できない曲番を再確認するには、リモコンの [DISPLAY] を押してください。
- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

TAPE:C- 52
AUTO

MD のとき

MD ●/❚❚
–DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD

押す

テープのとき

TAPE ●/❚❚

押す

（テープは自動的に巻き戻されます）

録音が始まり、終了すると停止します。

MD の好みの曲を予約して録音する（プログラム録音）

MD →テープ

MD を入れて
押しで"MD"に切り換える

------ M D ------

録音したい曲を予約する
（➡ 14 ページ）

押す

① 傾けで"REC MODE"を選び

REC MODE

② [ENTER] を押す

① 傾けて "AUTO REC?"を選び

AUTO REC?

② [ENTER] を押す

- テープは表示された時間（分）より長いものを入れる。

TAPE:C- 52
AUTO

TAPE ●/❚❚

押す
（テープは自動的に巻き戻されます）
録音が始まり、終了すると停止します。

■ 途中で止めるには

[■] を押す。（"AUTO REC"は解除されます）

■ MP3 をプログラム録音する場合

① [■] を押して、"CD"に切り換える。
② 録音したい曲を予約する。（➡ 14 ページ）
③ [MD ●/❚❚ – DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD] または [TAPE ●/❚❚] を押す。

お知らせ

- プログラム録音では曲と曲の空きが少し多くなります。従って、MD で"ゼンキョク REC カノウ"と表示されても、MD の残り時間が少ない場合は全曲録音できない場合があります。また、テープで"C –○○"と表示され、○○分のテープを入れても全曲録音できない場合があります。
- "C ––––"と表示されたら録音に必要なテープの長さが 120 分以上であることを表しています。

1曲をねらい録りする(1-REC)

準備：
- 電源を入れてから録音用 MD、またはテープを本体に入れる。
- 必要に応じて MD の長時間（LP）モードを選ぶ。(➡ 26 ページ)
- 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。(➡ 28 ページ)

CD の 1 曲をねらい録りする

CD → MD （高速録音可能）

CD →テープ

CD の好みの 1 曲を MD またはテープに録音します。

録音が始まり、終了すると停止します。

■ 途中で止めるには

[■] を押す。

■" 1-REC "は自動的に解除されません

録音が終了しても、" 1-REC "は自動的に解除されません。解除するには下記を行います。

① [MENU –DEMO] を押す。
② [REW/I◀◀] または [▶▶I/FF] に傾けて、" REC MODE "を選び、[ENTER] を押す。
③ [REW/I◀◀] または [▶▶I/FF] に傾けて、" MANUAL REC? "を選び、[ENTER] を押す。

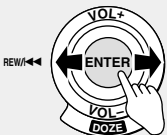
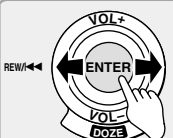
MD の 1 曲をねらい録りする

MD →テープ

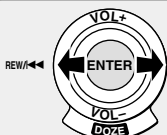
MD の好みの 1 曲をテープに録音します。

MD を入れて

押して“MD”に切り換える

押す

① **傾けて“REC MODE”を選び**

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて“1-REC?”を選び**

② **[ENTER] を押す**

傾けて曲を選ぶ

押す

録音が始まり、終了すると停止します。

■ **途中で止めるには**

[■] を押す。

■ **“1-REC” は自動的に解除されません**

録音が終了しても、“1-REC”は自動的に解除されません。解除するには下記を行います。

① [MENU –DEMO] を押す。

② [REW/◀◀] または [▶▶/FF] に傾けて、“REC MODE” を選び、[ENTER] を押す。

③ [REW/◀◀] または [▶▶/FF] に傾けて、“MANUAL REC?” を選び、[ENTER] を押す。

アルバムを録音する

MP3 → MD **MP3 →テープ**

MP3 の好みのアルバムを MD またはテープに録音します。

MP3 を入れて

押して“CD”に切り換える

押して“ALBUM”を選ぶ

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT → ALBUM → ALBUM REPEAT → OFF

押してアルバムを選ぶ

本体

MD のとき 押す

テープのとき 押す

録音が始まり、終了すると停止します。

■ **途中で止めるには**

[■] を押す。

グループを録音する

MD →テープ

MD の好みのグループをテープに録音します。

MD を入れて

押して“MD”に切り換える

停止中に押して、“GROUP”を選ぶ

OFF → TRACK REPEAT → ALL REPEAT → RANDOM → GROUP → GROUP REPEAT → OFF

- プログラムを設定している場合は “RANDOM” と “GROUP”・“GROUP REPEAT” は選べません。
- “GROUP” と “GROUP REPEAT” はグループ編集している MD でのみ表示されます。

押してグループを選ぶ

本体

押す

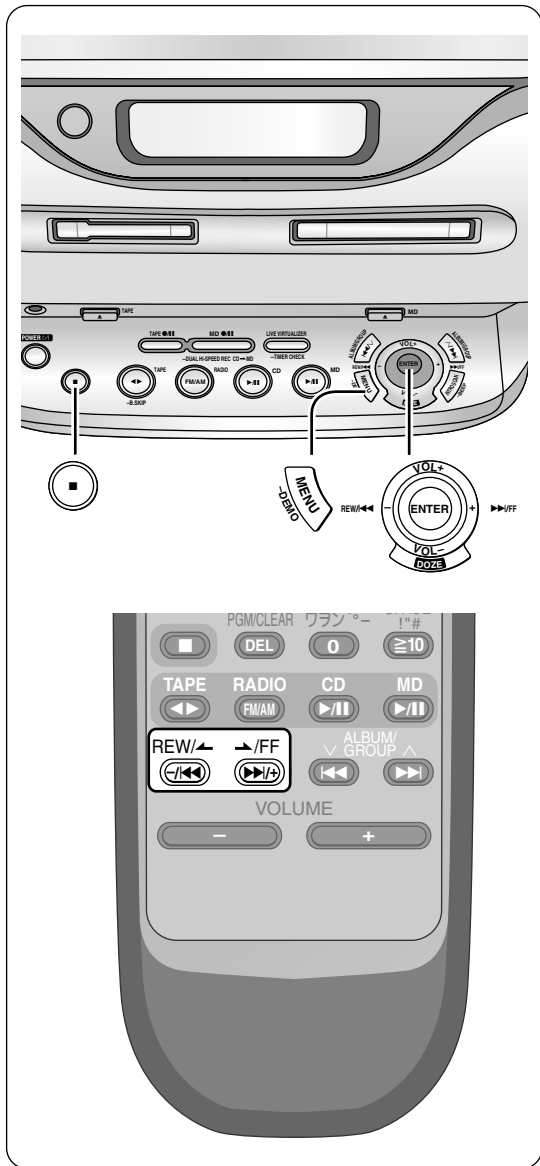
録音が始まり、終了すると停止します。

■ **途中で止めるには**

[■] を押す。

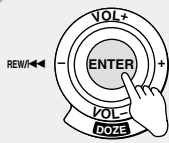
MD を編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作ることができます。(録音用 MD のみ)
グループ編集(➡ 18 ページ)を行った MD で編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

準備：
編集したい MD を入れる。(➡ 12 ページ)
[■] を押して“ MD ”を選ぶ

お知らせ

以下の場合は、MD の編集（ALL ERASE、TRACK ERASE、MOVE、COMBINE、DIVIDE、GROUP）ができません。解除してください。

- MD が誤消去防止になっている場合。
- MD をプログラム、ランダム、グループプレイに設定している場合

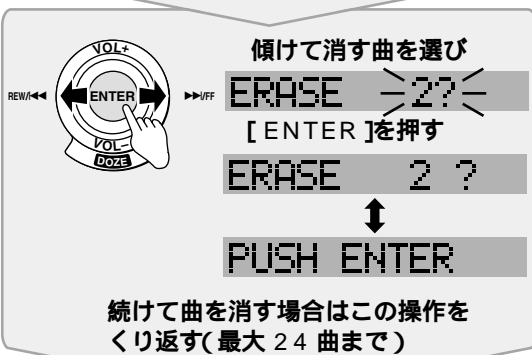
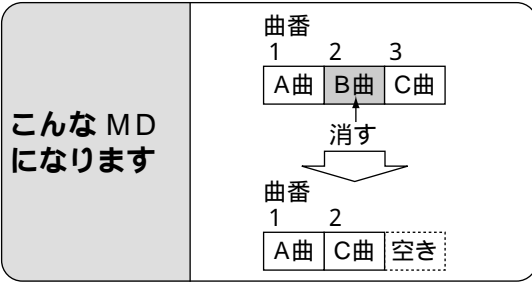
全曲を消す（オールイレース）

“ UTOC Writing ”→“ BLANK DISC ”表示になり、編集が完了します。

■ 途中で止めるには
[■] または [MENU –DEMO] を押す。

お知らせ

演奏中に全曲を消すことはできません。

1 曲または数曲を消す（トラックイレース）

1 曲または数曲（連続で最大 24 曲）を消すことができます。

押す

■ 途中で解除するには

[■] または [MENU –DEMO] を押す。

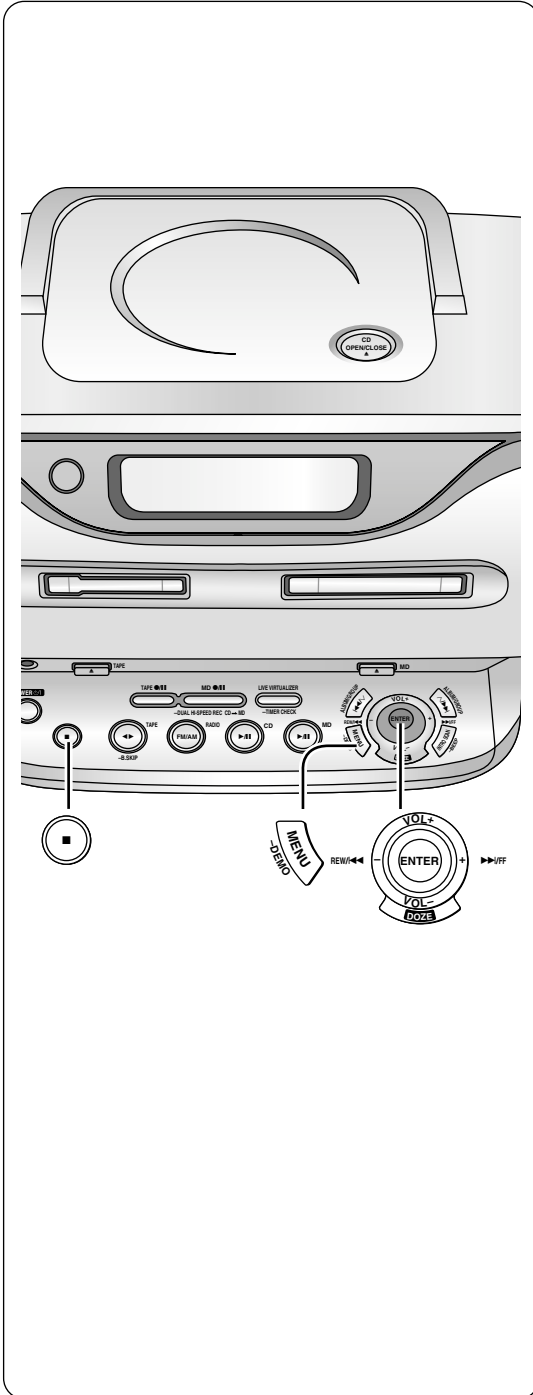
■ 演奏中（または一時停止中）に行うには

① 消したい曲を演奏する。
② [MENU –DEMO] を押す。
③ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて“ EDIT MODE ”を選び [ENTER] を押す。
④ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて“ TRACK ERASE? ”を選び [ENTER] を押す。
⑤ [ENTER] を押す。

■ 消す前に曲番を確認するには

左記最後の手順を行う前に、リモコンの [–/⏮ REW/] または [⏭/+ FF] を押す。
(“ ERASE CHECK ”モード)

MD を編集する（つづき）

準備：
編集したい MD を入れる。(➡ 12 ページ)
[■] を押して“ MD ”を選ぶ。

曲を移動する（ムーブ）

① 傾けて“ EDIT MODE ”を選び
② [ENTER] を押す

① 傾けて“ MOVE? ”を選び
② [ENTER] を押す

① 傾けて移動する曲を選び
② [ENTER] を押す

① 傾けて移動先を選び
② [ENTER] を押す

[ENTER] を押す
“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。

■ 演奏中（または一時停止中）に行うには

① 移動したい曲を演奏する。（または一時停止する）
② [MENU −DEMO] を押す。
③ [REW/◀◀] または [▶▶/FF] に傾けて“ EDIT MODE ”を選び [ENTER] を押す。
④ [REW/◀◀] または [▶▶/FF] に傾けて“ MOVE? ”を選び [ENTER] を押す。
⑤ [REW/◀◀] または [▶▶/FF] に傾けて移動先を選び [ENTER] を押す。
⑥ [ENTER] を押す。

■ 途中で解除するには

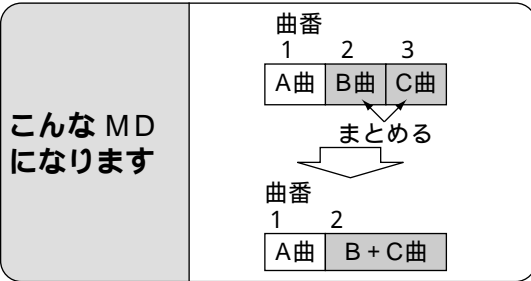
[■] または［MENU −DEMO］を押す。

お知らせ

グループ管理している MD で曲を移動しようとすると“ GROUP DATA FULL ”が表示され、移動ができない場合があります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。

2 曲を 1 つにまとめる（コンバイン）

こんな MD になります	曲番 1 2 3 / A曲 B曲 C曲 → まとめる → 曲番 1 2 / A曲 B＋C曲

押す

① 傾けて“ EDIT MODE ”を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

① 傾けて“ COMBINE? ”を選び

COMBINE?

② [ENTER] を押す

----+ -?

① 傾けてまとめようとする隣接した曲の組み合わせを選び

2+ 3?

② [ENTER] を押す

2+ 3 ?

⬍

PUSH ENTER

[ENTER]を押す

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ減ります）

■ 途中で解除するには

[■] または [MENU －DEMO] を押す。

■ 編集前の状態に戻すには

ディバイド機能（➡ 右記）をお使いください。

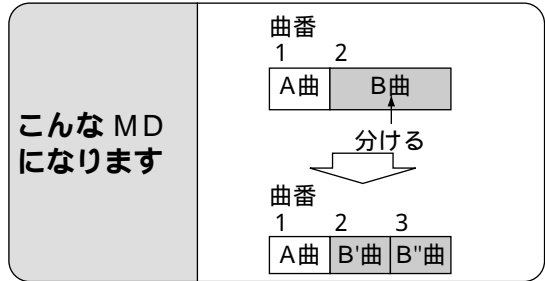
■ 演奏中（または一時停止中）に行うには

① まとめる後ろの曲を演奏する。
② [MENU －DEMO] を押す。
③ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて“ EDIT MODE ”を選び [ENTER] を押す。
④ [REW/⏮] または [⏭/FF] に傾けて“ COMBINE? ”を選び [ENTER] を押す。
⑤ [ENTER] を押す。

お知らせ

● 隣接した 2 曲のみ、まとめることができます。
● 2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲に付いていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
● 異なるモード（標準/LP2/LP4/長時間モノラル）で記録された曲は 1 つにまとめられません。
● LP4 モードで録音された曲をつなげると、つないだ部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

1 曲を 2 つに分ける（ディバイド）

こんな MD になります

2 つに分ける曲の演奏中に

① 傾けて“ EDIT MODE ”を選び

EDIT MODE

② [ENTER] を押す

① 傾けて“ DIVIDE? ”を選び

DIVIDE?

② おおよその分けたい位置で [ENTER] を押す

POS +000?

分けた位置から、繰り返し演奏します。
標準：約 4 秒間、LP2 ：約 8 秒間、LP4 ：約 16 秒間

傾けて正確な位置を調整する

POS +002?

調整範囲　標準 ：前後約 8 秒間
　　　　　LP2 ：前後約 16 秒間
　　　　　LP4 ：前後約 32 秒間
数値は－128 から +127 の範囲で表示されます。

[ENTER]を押す

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。
（分けた位置にトラックマークが 1 つ増えます）

■ 途中で解除するには

[■] または [MENU －DEMO] を押す。

■ 編集前の状態に戻すには

コンバイン機能（➡ 左記）をお使いください。

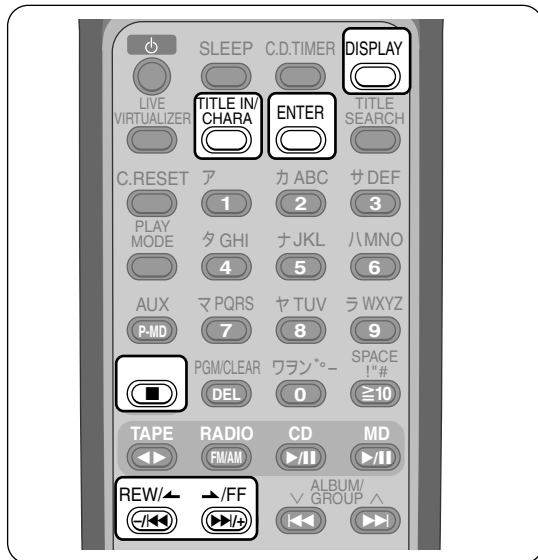
お知らせ

● タイトルの付いた曲を 2 つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。
● グループ管理している MD で 2 曲に分けようとすると“ GROUP DATA FULL ”が表示され、分けられない場合があります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。
● LP4 モードで録音した曲を 2 つに分けると、分けた部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

MDにタイトルを付ける リモコンのみ

録音済みMDにタイトルを付ける

- 録音用MDには、MDの名前(ディスクタイトル)やグループの名前(グループタイトル)、曲の名前(トラックタイトル)がそれぞれ約100文字まで記録できます。(LP2/LP4で録音した場合は、97文字になります。)
- 1枚のMDにはアルファベットで約1700文字記録できます。(文字の種類、曲数の関係で、少し減ることがあります。)LP2/LP4で録音した場合、曲のタイトルの先頭に「LP:」と自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。また、グループ編集をしていると、グループ管理情報が記録されるため、入力できる文字数は少なくなります。

準備:
① 編集したいMDを入れる。(➡ 12ページ)
② [■]を押して、"MD"に切り換える。

ディスクタイトルを付ける

停止中に

TITLE IN/CHARA **押して"DISC?"を選ぶ**

DISC?　TITLE

DISC?→ GROUP?→ TRACK?
↑―― 元の表示 ――┘

"GROUP?"はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

ENTER **押す**

カーソル

タイトル入力画面になります。

文字を入力する(➡ 右ページ)

ENTER **押す**

UTOC Writing

"UTOC Writing"点滅後、タイトル入力が完了します。

お知らせ

プログラム、ランダム、1曲リピート、グループプレイに設定している場合はタイトル入力できません。解除してください。

グループ/トラックタイトルを付ける

停止中に

TITLE IN/CHARA **押して"GROUP?"または"TRACK?"を選ぶ**

グループ GROUP?　TITLE

トラック TRACK?　TITLE

DISC?→ GROUP?→ TRACK?
↑―― 元の表示 ――┘

"GROUP?"はグループ編集しているMDでのみ表示されます。

ENTER **押す**

REW/ または /FF **押してグループまたは曲番を選ぶ**

グループ GP　2?　TITLE

曲番 TR　3?　TITLE

ENTER **押す**

カーソル

タイトル入力画面になります。

文字を入力する(➡ 右ページ)

ENTER **押す**

UTOC Writing

"UTOC Writing"点滅後、次のグループまたは、トラックタイトルの入力待機画面になります。

[ENTER]を押して、くり返し必要なタイトルを入力する

[■] **押してグループまたはトラックタイトル入力完了**

■ **途中で止めるには**

[■]を押す。ただし、すでに[ENTER]を押して確定したタイトルは残ります。

■ **入力後にタイトルを確認するには**

[DISPLAY]を数回押す。
表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

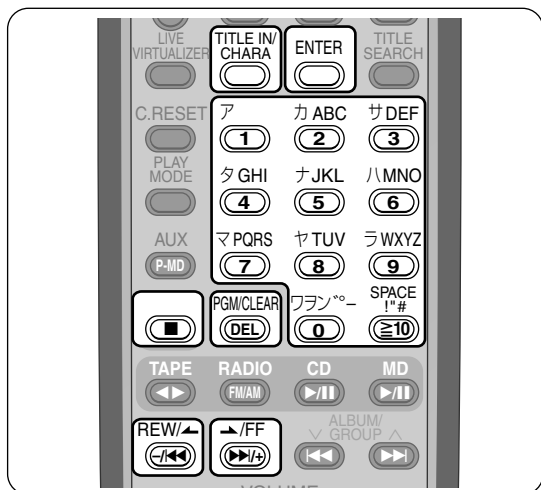
■ **録音したMDの演奏中にタイトルを付けることもできます(演奏中の曲のみ)**

① 演奏中に[TITLE IN/CHARA]を押す。
② 文字を入力(➡ 右ページ)して、[ENTER]を押す。
"TITLE WRITE"と表示された後、通常の表示に戻ります。

- 演奏中にタイトルを付けると、つづきの演奏中はMDの編集(DIVIDE、MOVE、COMBINE、TRACK ERASE)はできません。MDを停止させてから編集してください。

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、以下の方法で入力してください。
選んだ文字がカーソル部分に入力されます。

TITLE IN/ CHARA

押して文字の種類を選ぶ

押すたびに
カナ「ア」→ 英大「A」→ 英小「a」→数字「1」

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

ア 1　カ ABC 2　サ DEF 3　タ GHI 4　ナ JKL 5　ハ MNO 6　マ PQRS 7　ヤ TUV 8　ラ WXYZ 9　ワヲン゛゜ー 0　SPACE !"# ≧10

押して文字を選ぶ

選んだ文字がカーソルに表示されます。

/FF

押す

文字が確定され、次の文字の入力画面になります。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字
各ボタンを押すたびに、1 文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カ ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ GHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜ー 0	ワヲン゛゜ー			0

■ 記号を入力するには

[≧10 SPACE!"#] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `

␣ は空白を意味し、入力を確定した後には表示されません。

■ ゛゜ ―を入力するには

[0 ワヲン ゛゜ ―] を押して、"゛"、"゜" または "―" を選ぶ。
濁点(゛)や半濁点(゜)は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。あり得ない表記の場合は選択候補として現れません。

お知らせ

- 文字と、濁点/半濁点の間に空白などは入れられません。
- 入力中に最大文字数を超える操作をした場合は、"TITLE FULL" と表示されます。
- 文字の種類は入力中でも切り換えられます。
- 1 回の演奏または録音中にタイトル入力できる文字数は、約 1000 文字までです。1000 文字以上入力すると、"TITLE OVER" または "UTOC FULL" が表示されます。
- 演奏、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。

■ 入力を途中で止めるには

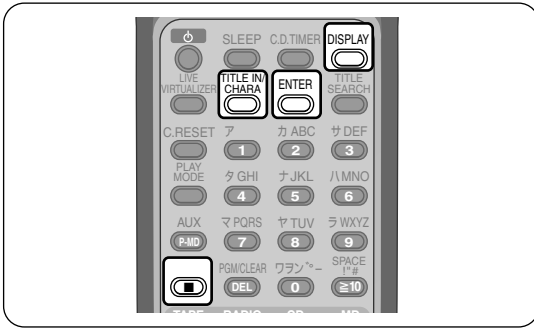
[■] を押す。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

■ 入力済みの文字を変更するには

[−/⏮ REW/] または [⏭/＋ /FF] で変更する文字にカーソルを合わせる。

- 文字を訂正するには
  文字入力(上記)で上書きし、[⏭/＋ /FF]を押す。
- 文字を削除するには
  [DEL PGM/CLEAR] を押す。
- 1 文字あけるには
  [≧10 SPACE!"#] を押して "␣" を選び、[⏭/＋ /FF] を押す。
- 文字を挿入するには
  ① 挿入する位置に [≧10 SPACE!"#] を押して "␣" を選び、[⏭/＋ /FF] を押して 1 文字あける。
  ② 文字を入力する。(上記)

MD にタイトルを付ける（つづき）

CD を録音中にまとめてタイトル（グループ・トラック）を付ける

シンクロ録音時にタイトルを付ける

シンクロ録音時（➡ 26 ページ）は、全トラックタイトルを付けることができます。

TITLE IN/ CHARA

録音中に押す

トラックタイトルを入力する
（➡ 43 ページ）

ENTER
押す
次の曲のトラックタイトル入力画面になります。

文字を入力（➡ 43 ページ）して [ENTER] を押す操作をくり返し、最後の曲までタイトルを入力する
（曲名を入力しなくても、[ENTER] を押すと、次の曲に進みます）

ENTER

押す
“ TITLE WRITE ”と表示された後、通常の表示に戻ります。

丸録り時にタイトルを付ける

丸録り時（➡ 33 ページ）は、グループタイトルと全トラックタイトルを付けることができます。

TITLE IN/ CHARA

録音中に押す
グループタイトル入力画面になります。

SERIES TITLE
TITLE INPUT

↓

SERIES TITLE
GP 1 TITLE

↓

グループタイトルを入力する
（➡ 43 ページ）

ENTER

押す
トラックタイトル入力画面になります。

トラックタイトルを入力する
（➡ 43 ページ）

ENTER

押す
次の曲のトラックタイトル入力画面になります。

文字を入力（➡ 43 ページ）して [ENTER] を押す操作をくり返し、最後の曲までタイトルを入力する
（曲名を入力しなくても、[ENTER] を押すと、次の曲に進みます）

ENTER

押す
“ TITLE WRITE ”と表示された後、通常の表示に戻ります。

■ 途中で解除するには

[■] を押す。ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。
もう 1 度 [TITLE IN/CHARA] を押すと、最初からタイトルを入力・修正できます。

■ タイトルの追加、訂正をするには

- 録音中であれば：上記手順を行ってください。
- 録音終了後であれば：録音済み MD のタイトル入力（➡ 42 ページ）で行ってください。

■ タイトル入力中のグループまたはトラック番号を確認するには

[DISPLAY] を押す。

お知らせ

- 入力したタイトルは 1 曲目から順に記録されます。前の曲には戻れません。
- CD のランダム、リピート設定をしている場合は、録音中のトラックのみタイトルを付けることができます。
- 録音中に一時停止した後は、まとめてタイトル入力できません。
- MD の録音曲数よりもタイトルの方が多い場合は、余ったタイトルは記録されません。
- まとめてタイトル入力中、入力後は一時停止することはできません。
- MP3 を録音中にタイトルを入力する場合、録音中のトラックのみタイトルを付けることができます。

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。一度タイトルを入れておけば、二度目からは入力の手間が省けます。

タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 演奏専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

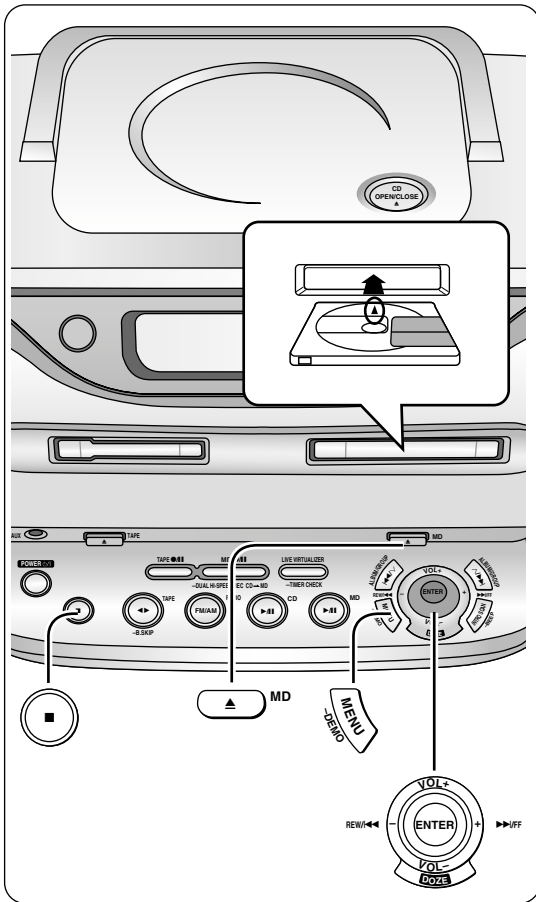
1. [■] 押して“ MD ”に切り換える
   - ----- M D -----
2. タイトルの付いた MD（コピー元）を入れる
3. [MENU –DEMO] 押す
4. ① 傾けて“ EDIT MODE ”を選び
   - EDIT MODE

   ② [ENTER] を押す
5. ① 傾けて“ TITLE ST.? ”を選び
   - TITLE ST.?

   ② [ENTER] を押す
   - TITLE ST. ? ⇕ PUSH ENTER
6. [ENTER] を押す
   - TITLE MEMORY → COMPLETE → EJECT MD
7. [▲ MD] 押して MD を取り出す
   - INSERT MD

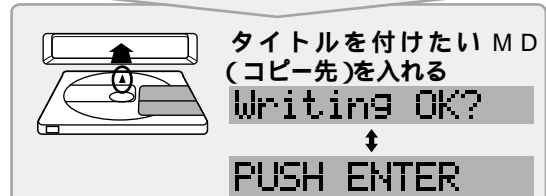
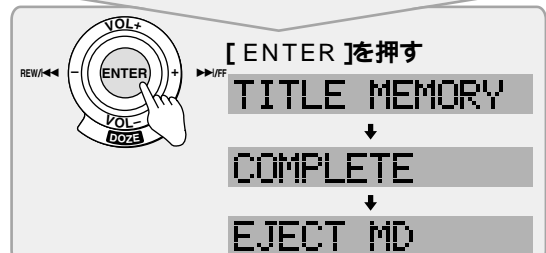
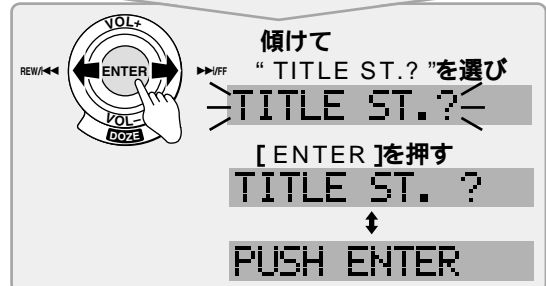
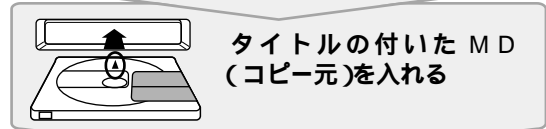
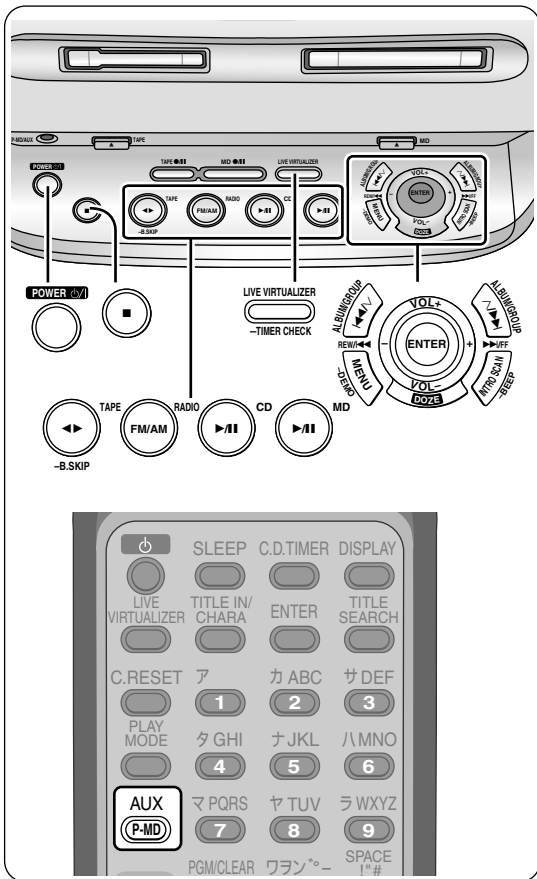
8. タイトルを付けたい MD（コピー先）を入れる
   - Writing OK? ⇕ PUSH ENTER

9. [ENTER] を押す
   - UTOC Writing

   点滅後、コピーが完了します。

■ 途中で解除するには

[■] を押す。

お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルは MD1 枚分です。
- 本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
- 電源を切ると本機のタイトルは失われます。
- LP2/LP4 で録音された曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が標準で録音されていると、トラックタイトルの頭に“ LP: ”と表示されます。
- コピー元のディスクが、グループ管理されている場合、コピー先に、グループ管理情報もコピーされます。

タイマーを使う

■ **アラーム音を途中で止めるには**
アラームが鳴っているときに [■] を押す。

■ **アラーム音を一時停止するには**（**DOZE** ドーズ機能）
アラームが鳴っているときに
- JOY コントローラーを上下左右のいずれかに傾けるか [ENTER] を押す。
  または [|◀◀/∨ ALBUM GROUP]、[∧/▶▶| ALBUM GROUP]、[MENU －DEMO]、[INTRO SCAN －BEEP] のいずれかを押す。

約 6 分後に再度アラーム音が鳴ります。

■ **解除するには**
① [MENU －DEMO] を押す。
② [REW/|◀◀] または [▶▶|/FF] に傾けて“ TIMER SET ”を選び [ENTER] を押す。
③ [REW/|◀◀] または [▶▶|/FF] に傾けて“ TIMER OFF ”を選び [ENTER] を押す。

■ **設定内容を確認するには**
[LIVE VIRTUALIZER －TIMER CHECK]を押し続ける。

お知らせ
- アラームタイマーと留守録音タイマーは同時に設定できません。
- おめざめタイマーと設定時刻が重なった場合や演奏中の場合は、ミキシングした音になります。
- 録音中にアラームが鳴ってもアラーム音は録音されません。
- アラーム音が鳴っているときや一時停止中は“ ALARM ”が点滅します。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。
- おめざめタイマー（➡ 47 ページ）と同時に設定するときは、**「傾けて“ ALARM ”を選び」**の操作で“ ALARM & T-PLAY ”を選ぶ。

アラームタイマーを使う

指定した時間にアラーム音を鳴らします。
準備：
① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（➡ 10 ページ）
表示例：6:45 にアラーム音を鳴らせる場合

タイマー時刻設定（24 時間表示）

押す

① **傾けて“ TIMER ADJUST ”を選び**

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて“ ALARM ”を選び**

② **[ENTER] を押す**

10 秒以内
① **傾けて開始時刻に合わせて**

② **[ENTER] を押す**

タイマー実行設定

押す

① **傾けて“ TIMER SET ”を選び**

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて“ ALARM ”を選び**

傾けるたびに
TIMER OFF（解除）↔ ALARM ↔ T-PLAY
↕ ↕
T-REC TAPE ↔ T-REC MD ↔ ALARM & T-PLAY
時刻設定をしていないタイマーは選べません。

② **[ENTER] を押す**

指定した時刻になると、アラーム音が鳴ります。
音量は調節できません。
停止・一時停止の操作をしないときは、約 60 分間鳴り続けます。

おめざめタイマーを使う

- 設定した時刻に電源が入り、好みのソース(音源)を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- 時刻設定を一度しておくと、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

準備：
① 電源を入れる。② 時計を合わせる。(➡ 10 ページ)
表示例：6:30～7:40 まで好みのソースを演奏する場合

タイマー時刻設定(24 時間表示)

押す

① **傾けて“TIMER ADJUST”を選び**

TIMER ADJUST

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて “TIMER PLAY”を選び**

TIMER PLAY

② **[ENTER] を押す**

10 秒以内

① **傾けて開始時刻に合わせて**

ON OFF
6:30 →→ 0:00

② **[ENTER] を押す**

ON OFF
6:30 →→ 6:30

① **傾けて 終了時刻に合わせて**

ON OFF
6:30 →→ 7:40

② **[ENTER] を押す**

■ 解除するには

① 電源を入れ [MENU －DEMO] を押す。
② [REW/I◀◀] または [▶▶I/FF] に傾けて “TIMER SET” を選び [ENTER] を押す。
③ [REW/I◀◀] または [▶▶I/FF] に傾けて “TIMER OFF” を選び [ENTER] を押して、“◴ PLAY” 表示を消す。

- 再び動作させるときには、手順 ③ で “T-PLAY” を選ぶ。

■ 設定内容を確認するには

電源「切」のときに [LIVE VIRTUALIZER －TIMER CHECK] を押し続ける。

■ 外部機器を使ったタイマー設定

上記手順 **「ソースと音量を選ぶ」**でリモコンの [P-MD AUX] を押し、“AUX” にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

■ 好みの曲を設定するには

上記手順 **「ソースと音量を選ぶ」**の前に、好みの曲を予約する。(➡ 14 ページ)

タイマー実行設定

ソースと音量を選ぶ

① ソースを演奏し、

② 音量を調節し、

③ MD・CD・テープは演奏を止める。

押す

① **傾けて “TIMER SET”を選び**

TIMER SET

② **[ENTER] を押す**

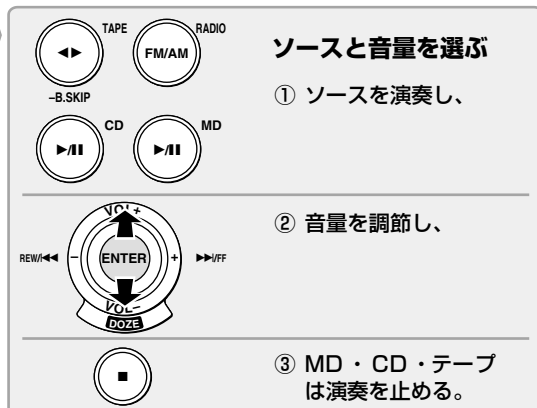
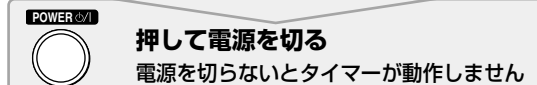
① **傾けて“T- PLAY”を選び**

T-PLAY

傾けるたびに
TIMER OFF (解除) ↔ ALARM ↔ T-PLAY
↕ ↕
T-REC TAPE ↔ T-REC MD ↔ ALARM & T-PLAY
時刻設定をしていないタイマーは選べません。

② **[ENTER] を押す**

TIMER-PLAY
6:30 →→ 7:40
◴PLAY

押して電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません

設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン(徐々に大きく)して、演奏します。(動作中は、“◴ PLAY” が点滅)

■ 操作を間違えたり、予約した内容を変えるときは

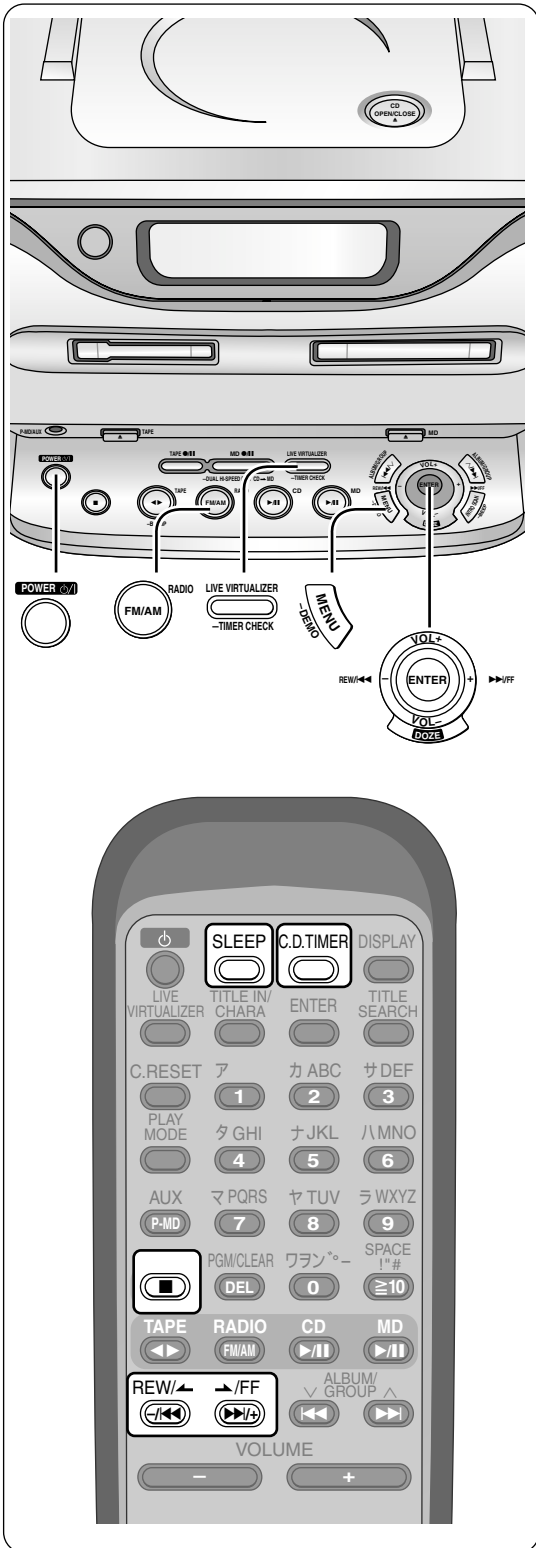
時刻を変えるとき
電源を入れ、タイマー時刻設定 の操作を行ってから電源を切る。

ソースを変えるとき
① 左記「**■解除するには**」の操作を行い “TIMER OFF” を表示させる。
② タイマー実行設定 の操作を行う。

■ タイマー設定後でも、演奏や録音はできます

操作後は、必ず電源を切ってください。
電源が入っている場合はタイマーが動作しません。

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。
- アラームタイマー(➡ 46 ページ) と同時に設定するときは、**「傾けて “T-PLAY” を選び」**の操作で “ALARM & T-PLAY” を選ぶ。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

留守録タイマーを使う

● 設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

準備：

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 10 ページ)
③ 録音用 MD またはテープを入れる。

表示例：18:30 〜 20:00 まで好みの放送を録音する場合

タイマー時刻設定（24 時間表示）

押す

■ 解除するには

① 電源を入れ、[MENU －DEMO]を押す。
② [REW/I◀◀] または [▶▶I/FF] に傾けて“TIMER SET”を選び [ENTER] を押す。
③ [REW/I◀◀] または [▶▶I/FF] に傾けて“TIMER OFF”を選び [ENTER] を押して、“◴ REC”表示を消す。

● 再び動作させるときには、手順③で“T-REC MD”または“T-REC TAPE”を選ぶ。

■ 操作を間違えたり、予約した内容を変えるときは

<u>時刻を変えるとき</u>

電源を入れ、*タイマー時刻設定* の操作を行ってから電源を切る。

<u>ソースを変えるとき</u>

① 上記「**■解除するには**」の操作を行い“TIMER OFF”を表示させる。
② *タイマー実行設定* の操作を行う。

タイマー実行設定

放送局を受信する（➡ 22 ページ）
①"FM"または"AM"を選ぶ

② 周波数を選ぶ

●記憶させたチャンネルを選ぶには（➡ 25 ページ）

③ 音量を調節する

MD に録音する場合は、必要に応じて録音モード（➡ 30 ページ）、長時間録音モード（➡ 26 ページ）を設定してください。

MENU -DEMO

押す

① 傾けて"TIMER SET"を選び

TIMER SET

②［ENTER］を押す

① 傾けて"T-REC MD"または"T-REC TAPE"を選び

T-REC MD

傾けるたびに
TIMER OFF（解除）↔ ALARM ↔ T-PLAY
↕ ↕
T-REC TAPE ↔ T-REC MD ↔ ALARM & T-PLAY
時刻設定をしていないタイマーは選べません。

②［ENTER］を押す

TIMER-REC
18:30 →20:00
REC

押して電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません

設定した時刻の約 30 秒前になると電源が入り、自動的に録音が始まります。（動作中は"REC"が点滅）設定した音量まで除々に大きくなります。録音される音には影響ありません。

■ **設定内容を確認するには**
電源「切」のときに［LIVE VIRTUALIZER －TIMER CHECK］を押し続ける。

■ **タイマー設定後でも、演奏や録音はできます**
操作後は、録音用 MD またはテープを入れて必ず電源を切ってください。電源が入っている場合は、タイマーが動作しません。

お知らせ
- 留守録音タイマーはおめざめタイマー、アラームタイマーと同時に設定できません。
- ターンバック録音モードでタイマー録音する場合でも 4 番目の手順で設定した開始時刻から録音が始まります。
- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

おやすみタイマーを使う リモコンのみ

指定した時間が経過すると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。

ソースを聞きながら
押して演奏時間を指定する

SLEEP 30
SLEEP

押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120 → OFF
（単位：分）

■ **解除するには**
［SLEEP］を押して、"SLEEP OFF"を選ぶ。

■ **残り時間を確かめるには**
［SLEEP］を 1 回押す。残り時間が約 5 秒間表示されます。

■ **残り時間を変えるには**
［SLEEP］を押して、新たに時間を設定する。

お知らせ
- カウントダウンタイマー設定時（下記）に、おやすみタイマーは使えません。
- おやすみタイマーが 10 分以上残っていても、オートオフ機能（➡ 51 ページ）を働かせている場合、オートオフ機能が優先されます。

カウントダウンタイマーを使う

リモコンのみ

設定した時間（約 1 分～ 120 分）後にアラーム音を鳴らして、時間経過を知ることができます。

押す

TIMER 10:00

10 秒以内
押して時間（分）を選ぶ
1:00 ←----→ 120:00
（単位：分）

TIMER 9:00

C.D.TIMER

押す

カウントダウンが始まり、設定した時間（分）後になるとアラーム音が約 10 秒間鳴ります。音量は調整できません。

■ **アラーム音を止めるには**
アラーム音が鳴っているときに［■］を押す。

■ **解除するには**
カウントダウン動作中に［C.D. TIMER］を押す。

お知らせ
- おやすみタイマー設定時（➡ 上記）にカウントダウンタイマーは使えません。
- オートオフ（➡ 51 ページ）設定時はカウントダウンタイマーが優先します。オートオフはカウントダウンタイマーが鳴った後、約 10 分後に働きます。
- 電源を「切」にすると、カウントダウンタイマーは解除されます。
- 電源「切」時にカウントダウンタイマーは使えません。
- カウントダウンタイマー動作時は、［DISPLAY］を押しても表示は切り換わりません。

便利な機能を使う

音質、音場効果を選ぶ

好みの音質や音場効果を楽しめます。

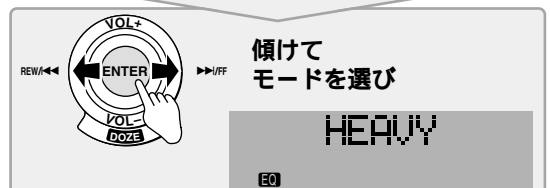
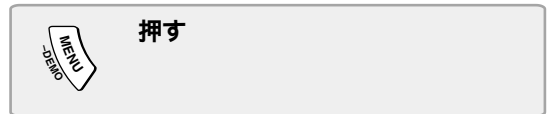
臨場感を高める　L.V.（ライブバーチャライザー）

■ **設定を解除するには**
もう一度押して、“ L.V. OFF ”を表示させる。

お知らせ

効果はステレオ音声のみで、音楽によって異なります。

音質を切り換える　EQ（イコライザー）

押す

傾けるたびに

- HEAVY ：ロックなど、パンチを効かせるとき
- ↕
- CLEAR ：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
- ↕
- SOFT ： BGM として聞くとき
- ↕
- VOCAL ：ボーカルにつやを出したいとき
- ↕
- EQ-OFF ：音質効果を使わないとき

② [ENTER]を押す

■ **設定を解除するには**
上記最後の手順で“ EQ-OFF ”に設定する。

オートオフ機能

電源の切り忘れを防ぎます。
CD、MD、テープの演奏を停止し、ボタン操作がない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

押す

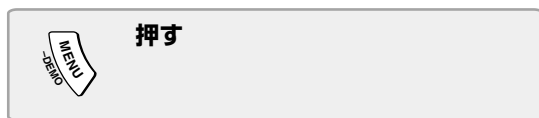
① **傾けて**
“AUTO OFF MODE”を選ぶ

AUTO OFF MODE

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて**
“AUTO OFF −ON−”を選ぶ

AUTO OFF-ON-

② **[ENTER] を押す**

■ オートオフ機能を解除するには
上記最後の手順で“AUTO OFF — OFF —”に設定する。

お知らせ

- オートオフ機能は、MD、CD 、テープの場合にのみ働きます。
- オートオフ機能を ON にしておくと、電源「入」時に“AUTO OFF”が表示されます。
- おやすみタイマー (➡ 49 ページ) が 10 分以上残っていても、オートオフ機能を働かせている場合は、オートオフ機能が優先されます。
- オートオフ機能を ON にしても、カウントダウンタイマー (➡ 49 ページ)動作中はオートオフしません。カウントダウンタイマー終了後、約 10 分間操作をしないと電源「切」になります。

時間やタイトルなどの情報を見る(ディスプレイ)

リモコンのみ

タイトルや残り時間などいろいろな情報が表示されます。

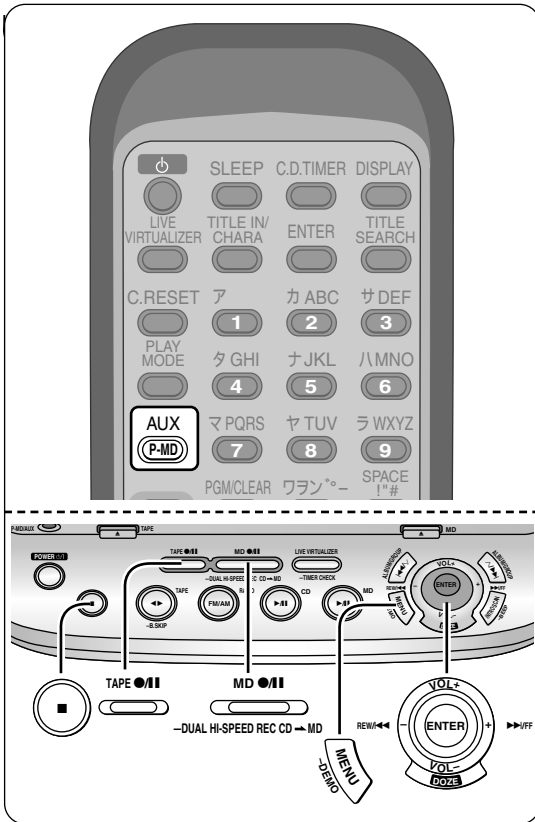
DISPLAY

押す
押すたびにいろいろな情報が表示されます。
表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

お知らせ

- MD の残り時間の表示(“MD Rem ○○○ : ○○”)は、録音用 MD で誤消去防止つまみを閉じている場合に限ります。
- 文字のスクロールは表示部に表示しきれない場合に限ります。
  スクロール表示中に[DISPLAY]を押すと他の表示に移ります。
- MP3 の残り時間は表示されません。

別売り機器を使う

準備：
- 電源を入れてから録音用 MD を本体に入れる。
- 必要に応じて MD の長時間（LP）モードを選ぶ。（➡ 26 ページ）
- 電源を入れてからテープを本体に入れる。
- 必要に応じて テープのリバースモードを選ぶ。（➡ 28 ページ）

MD ネットワーク機能でビジュアル/タイトルプリンター（対応品： SH-CP30（別売り））を使うには

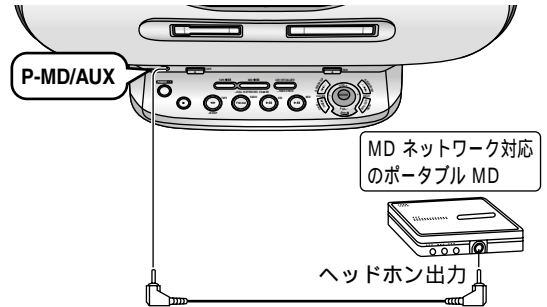
MD に付いているタイトルを元にして、MD のラベルが印刷できます。
P-MD／AUX 端子に接続して使います。くわしくはビジュアル/タイトルプリンターの説明書をお読みください。

お知らせ
- MD ネットワーク機能で高速録音はできません。おめざめタイマー、留守録タイマーと組み合わせて使うこともできません。
- 本機側の MD にディスクタイトルが記録されている場合は、MD ネットワーク機能でもディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能でグループ名はコピーされません。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブル MD プレーヤーは節電のため、約 4 分後に自動的に電源「切」になります。（点滅表示になります。再び通信確立するには［P-MD AUX］を押してください。）
- ソース（音源）によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

別売り品の品番は、2002 年 7 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

MD ネットワーク機能で MD から MD に録音する

ポータブル MD プレーヤーを接続

- **電源を切った状態で接続してください。**

MD ネットワークコード（別売り）
RP-CAM9G15、1.5 m

対応品

カタログにこのマークが付いている製品です。

MD から MD に録音する

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーから本機の MD プレーヤーに録音します。ポータブル MD プレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（演奏専用 MD のタイトルはコピーできません。）

リモコン
AUX
(P-MD)

押して“ P-MD ”を選ぶ

P-MD (18Tr)

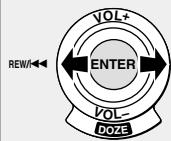
ポータブル MD 側の総曲数

押すたびに
AUX ：一般の外部機器（MD ネットワーク未対応）
↕
P-MD ： MD ネットワーク対応の機器

● **全曲録音するとき**

MD ●/II
–DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD

押す
自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。（曲間に数秒のブランクができます。）

● **1 曲ずつ録音するとき**

傾けて、曲番を選ぶ
確認の意味で、選んだ曲が自動的に演奏されます。

⬇

MD ●/II
–DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD

演奏が始まってから押す
自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると、自動停止します。

■ 途中で止めるには

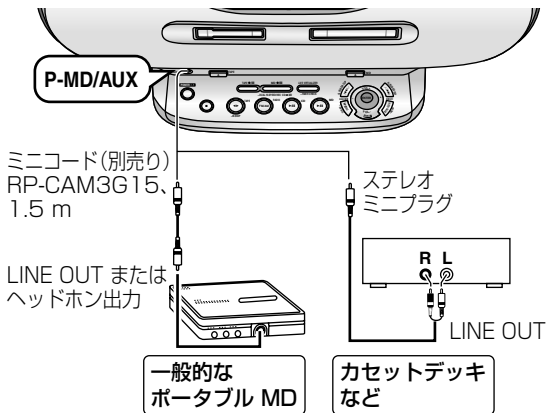
［■］を押す。

お願い

操作中はネットワークコードを抜かないでください。

別売り機器を本機の MD ・テープに録音する

別売り機器を接続

● **電源を切った状態で接続してください。**

■ **アナログプレーヤーを接続するには**

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
推奨品：当社製アナログプレーヤー
SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

- SL-J8 を本機に接続するには、ピンミニコード（別売り： RP-CAPM3G15）とピンプラグアダプター（別売り： RP-PA66A)が必要です。
本機の P-MD / AUX 端子に接続します。
- フォノイコライザーを内蔵していないプレーヤーを本機に接続するには、サービスルート扱いのフォノイコライザー（別売り： RFKZ0088KIT）が必要です。
そのまま接続すると、音が小さくなります。

録音モードについて（MD に録音時）

つないだ機器によって、選択できる録音モードは異なります。

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。トラックマークは付きません。

SYNCHRO（シンクロ）：接続した機器の演奏が始まると、自動的に録音も始まるモードです。無音の状態が約 3 秒続くと録音が一時停止し、演奏が再開すると録音も再開します。録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

TURN BACK（ターン バック）：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。

TIME MARK（タイム マーク）：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

TURN/TIME（ターン タイム）：数秒前の音から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

お知らせ

- ソース（音源）や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
- SYNCHRO モードでは音が一定レベルに達したところから録音が始まるため、曲によっては頭の部分が録音されないことがあります。その場合は SYNCHRO モードを使用せずに録音し、後からディバイド機能 (➡ 41 ページ) などで編集してください。
- マイクを接続すると、SYNCHRO モードで正しく動作しないことがあります。
- SYNCHRO モードでは一時停止できません。

本機の MD に録音する

リモコン　**押して、"AUX"を選ぶ**

AUX (P-MD)

―――― AUX ――――

押すたびに
AUX　：一般の外部機器（MD ネットワーク未対応）
↕
P-MD ： MD ネットワーク対応の機器

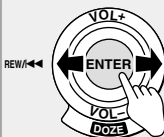
リモコン　**録音レベルの確認**

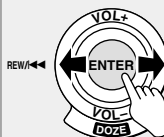
外部機器のヘッドホン端子と接続しているときは、外部機器を演奏して、レベル表示が、時々端まで点灯する程度に、外部機器の音量を調節してください。

レベル表示 ― <<<<<<<|>>>>>>>

必要に応じて押し続けて、入力レベルを選ぶ

NORMAL ：レベルを変えないとき（信号レベルが通常の機器）
↕
HIGH　：レベルを上げたいとき（ポータブル MD など信号レベルが低い機器）

MENU -DEMO **押す**

① **傾けて "REC MODE"を選び**

REC MODE

② **[ENTER] を押す**

① **傾けて、録音モード（左記参照）を選び**

MANUAL? ↔ SYNCHRO?↔ TURN BACK?
↕ ↕
TURN/TIME? ↔ TIME MARK?

② **[ENTER] を押す**

MD ●/❚❚ –DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD　**押す**

- SYNCHRO モードのときは、一時停止状態になります。外部機器から信号が入ると、自動的に録音が始まります。
- TURN BACK または TURN/TIME モードのときは録音待機状態になります。
もう 1 度［MD ●/❚❚ –DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD］を押してください。

外部機器を演奏する

本機のテープに録音する

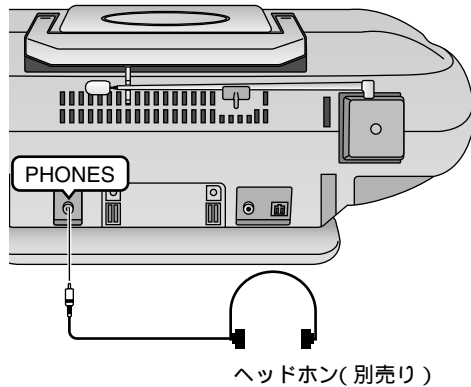
① 上記 2 番目の手順までを行う。
② ［TAPE ●/❚❚］を押す。
③ 外部機器を演奏する。

■ **途中で止めるには**

[■] を押す。

ヘッドホン/マイクを使う

別売り品の品番は、2002年7月現在のものです。品番は変更されることがあります。

ヘッドホンを使う

① 音量を下げる
② 本機後面の PHONES 端子にヘッドホンを接続し、音量を調節する

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

ヘッドホン
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
- 推奨品：RP-HT530、RP-HT242（ともに別売り）

音のエチケット

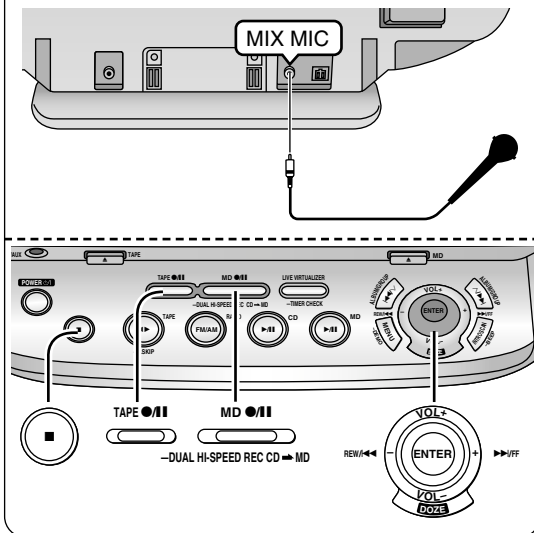
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

マイクを使う

準備：
- 電源を入れる。
- 音量を下げ、本機後面の MIX MIC 端子にマイクを接続する。（スイッチ付きマイクのときは ON にする）
- 必要に応じて MD の長時間（LP）モードを選ぶ。（➡ 26 ページ）
- 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。（➡ 28 ページ）

マイク
- プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
- 推奨品：RP-VK45（別売り）

本機後面
MIX MIC

カラオケを楽しむ

① CD またはテープ、ラジオ、MD、別売り機器（AUX 入力）を演奏する。
② カラオケを始め、本機の音量を調節する。

カラオケを録音する（マイクミキシング）

お願い

CD から MD へマイクを使ってミキシング録音するときは、はじめにマイクを接続してください。自動的にアナログ録音に切り換わります。
録音中にマイクを接続してもマイクの音は録音されません。

① 録音用 MD、またはテープを入れる。
② CD を入れ、[■]を押して“ CD ”に切り換える。
③ ［REW/⏮REW］または［⏭/FF］に傾けて好みの曲を選ぶ。
④ MD に録音する場合は［MD ●/❚❚ ー DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD］を押す。
テープに録音する場合は[TAPE ●/❚❚]を押す。

本機を拡声器として使う

① [■]を押して、“ CD ”または“ MD ”、“ TAPE ”に切り換える。
② 本機の音量を調節する。

マイクから録音する

① 録音用 MD、またはテープを入れる。
② [■]を押して、“ MD ”または“ TAPE ”に切り換える。
③ MD に録音する場合は［MD ●/❚❚ ー DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD］を押す。
テープに録音する場合は[TAPE ●/❚❚]を押す。

TAPE ●/❚❚
MD ●/❚❚
–DUAL HI-SPEED REC CD ➡ MD
REW/⏮
ENTER
VOL+
VOL–
DOZE
⏭/FF

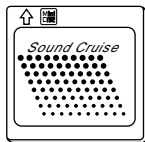
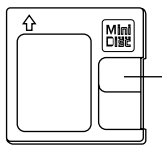
お知らせ

- 音声多重の CD やテープを使っても、歌手の声を消すことはできません。
- マイクを録音中にハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- P-MD モード（➡ 52 ページ）または AUX モード（➡ 53 ページ）で入力レベルを“ HIGH ”にした場合は、マイクを使用できません。
- MD 演奏中のレベルメーターにはマイク入力の信号は含まれません。
- マイクを使わないときは、マイクのプラグを抜いてください。（マイクを接続していると、CD から MD への録音はアナログになります。）
- CD 高速録音（➡ 32 ページ）でマイクミキシングはできません。
- マイクの録音レベルは変更できません。

MD について

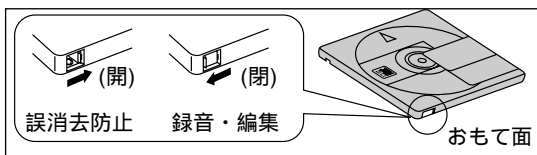
MD の種類

■演奏専用 MD
録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD
磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

■テープとは違います
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）（➡ 38、39 ページ）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです。
ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために
MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“ コピーのコピー ”の禁止。）
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“ UTOC Writing ”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

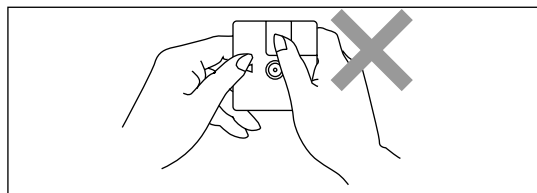
■トラックマーク
録音部分に記録される“ 区切り ”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲番まで記録することができます。

■TOC（トック）（Table of Contents）
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

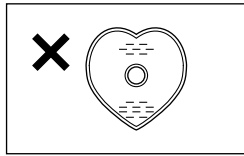
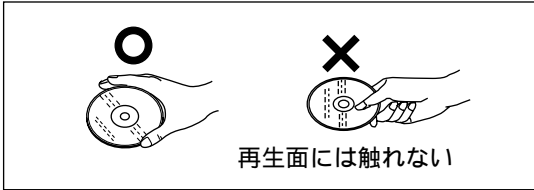
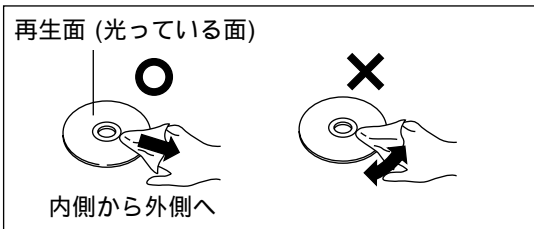
■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）
利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“ UTOC Writing ”と表示され注意を促します。

■MARKING（マーキング）
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

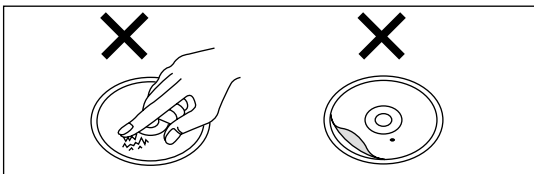
取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

■持ちかた

■汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■ 露がついたら
急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

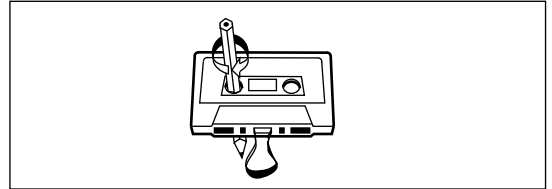
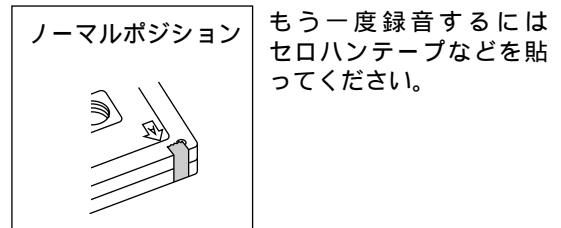
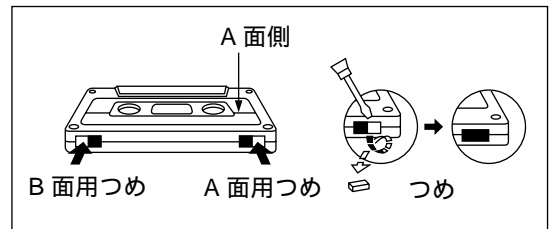
取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

テープについて

■100 分を越えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには
① テープを入れる。
② [■] を押して、“ TAPE ”を選ぶ。
③ [PLAY MODE] を押して、リバースモードを選ぶ。
④ [TAPE ●/❚❚] を押す。

保管（CD•MD•テープ）

■次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD・MDを良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
CDレンズクリーナー（品番 RP-CL510）
MDレンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 3232-8301	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎(03) 5286-1671	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

主な仕様

ラジオ

受信周波数
- **FM**：76.0 ～ 90.0 MHz（TV 1ch～3ch）
- **AM**：522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

MD デッキ

記録方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数	44.1 kHz
圧縮/伸張方式	ATRAC/ATRAC 3（MDLP）方式
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	測定限界以下

テープレコーダー

トラック方式	ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
モニター方式	バリアブルサウンドモニター
周波数範囲	
ノーマルポジション	70 ～ 15,000 Hz（JEITA）

CD プレーヤー

サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	測定限界以下
DA コンバーター	MASH（1 ビット DAC）

共通

スピーカー	7 cm/6 Ω フルレンジ 2 個
入力端子	
MIX MIC	モノラルミニ（M3）（適合マイクインピーダンス 200 ～ 600 Ω）
P-MD（6P）/AUX（M3）	
P-MD、AUX（HIGH）	−19 dBV
AUX（NORMAL）	−10 dBV
出力端子	
PHONES	ステレオミニ（M3）（適合ヘッドホンインピーダンス 16 ～ 64 Ω）
実用最大出力	6 W（3 W ＋ 3 W）（JEITA）
電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	21 W
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）	462 × 180 × 243 mm（JEITA）
質量	約 4.4 kg

電源切時の消費電力：約 1.0 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプが必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	53
	テレビをつなぎたい	P-MD/AUX 端子に接続します。 リモコンの[P-MD AUX]を押して、“ AUX ”を選んでください。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	53
	有線放送をつなぎたい	P-MD/AUX 端子に接続します。 リモコンの[P-MD AUX]を押して、“ AUX ”を選んでください。	53
MD	MD ネットワークに対応している機器は？	カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	52
	長時間ステレオ録音をしたい	LP モード 2 倍/ 4 倍の設定をしてから録音します。	26
	MD の残り時間を知りたい	MD 停止中にリモコンの［DISPLAY］を数回押して“ MD Rem ”を表示させる。	51
	録音した曲に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	イレース（➡ 38, 39 ページ）
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。 頭出しは不要です。	
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“ LP: ”と表示され、無音で再生されます。	
	長時間ステレオ録音した曲の演奏はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	
	LP2、LP4 で録音された MD は、音質が悪くなる？	LP4 では、ごくまれに雑音が録音されることがあります。標準時間録音または LP2 録音をおすすめします。	27
	高速録音すると音質は悪くなる？	高速録音しても音質には影響ありません。	
その他	外部機器（AUX）からの出力が小さいが？	推奨のコードをお使いください。	53
	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。 ラジオのエリアバンクを設定し直してください。	24

こんな表示が出たら

表　示	意味または処理
ADJUST CLOCK	時計を合わせてください。
ADJUST TIMER	タイマーの時刻を設定してください。
BLANK DISC	MD に一曲も録音されていません。聞くときは録音済みの MD を入れてください。 録音はそのまま行えます。
CAN NOT EDIT	演奏中のタイトル入力後、MD 編集はできません。
CAN T MEMORY	転写元の MD タイトルが記憶できていません。再度操作してください。
CHANGE TIME	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。
DISC、PROTECTED （交互に表示）	MD 誤消去防止状態になっています。 録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EJECT ERROR または LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。 自動的に電源が切れますので、MD を入れ直してください。
EMERGENCY、STOP （交互に表示）	録音中に異常が発生しました。MD を入れ直してください。
ERROR	操作が違います。
GROUP DATA FULL	MD の領域が足りません。タイトルを短くするか、消去してください。
NOT COMBINE	コンバインできません。（MD の記録方式上の制約です。）
NOT DIVIDE	ディバイドできません。（MD の記録方式上の制約です。）
NOT MP3 DISC	CD-ROM ディスクで、CD-DA または MP3 のデータがないと表示され、再生はできません。
NOT MP3 ERROR E2/E4	本機で再生できない形式のトラックを再生しようとしました。 トラックはスキップされ次の曲が再生されます。
PlaybackDISC	演奏専用 MD のため、録音や編集はできません。
P-MD ERROR	ポータブル MD との通信エラーです。再度リモコンの［P-MD AUX］を押してください。
P-MD（点滅表示）	ポータブル MD との通信が中断しています。再度リモコンの［P-MD AUX］を押してください。
REC ERROR	録音中に異常が発生しました。表示中は音声は録音されていません。
SCMS、CAN NOT COPY （交互に表示）	ビデオ CD、CD-ROM、コピー禁止が設定されたディスクなどからは録音できません。 SCMS（➡ 55 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。デジタルでは録音できませんので録音モードを“ANALOG REC?”（➡ 27 ページ）に切り換えてください。
SELECT OVER	これ以上イレースするトラックを選べません。
TAPE、PROTECTED （交互に表示）	テープのつめが折れているため録音できません。 録音するには、テープのつめの部分にセロハンテープなどを貼ってください。
TITLE FULL（約 2 秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は約 100 文字までです。
TITLE OVER	101 文字以上のタイトルが記録されていますが、約 101 文字以降は削除されます。
TOC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。 電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。MD を取り替えてください。
	MP3 ディスクの読み込みができませんでした。ディスクを入れなおしてください。
TOC Reading	MD の情報を読み込み中です。この間は操作できません。
TRACK NUMBER、 NOT EQUAL（交互に表示）	曲数の違う MD へはタイトルステーション機能は使えません。
TRACKxxx、PROTECTED、 ERASExx??（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。 消去することはできます。
UTOC FULL	MD に情報を書き込める余白がありません。 不要なタイトルや曲を消去してください。（UTOC FULL の状態ではディバイドもできません。）

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに表示が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	11
	音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	音量を調節する。	12, 20, 22
		ヘッドホンを接続していませんか。	ヘッドホンをはずす。	54
	設定時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか。	おめざめ、留守録タイマーは電源を切らないと動作しません。	47, 48
		“◴ PLAY、◴ REC、SLEEP、ALARM ”が表示していますか。	おめざめ、留守録、おやすみ、アラームの各タイマーのタイマー実行設定を行って表示させる。	46〜49
	電源「切」に時計が表示されない。		時計を合わせる。	10
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	電源プラグを長期間抜いていませんか。	再度設定してください。 メモリー内容を消したくない場合は、電源「切」時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。	11
	表示が出ない。	電源コードを正しく接続していますか。	電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込んでみる。	7
MD	再生または録音できない	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
		演奏専用のMDを入れていませんか。	録音用MDを入れる。	55
		誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	
		すでに録音された時間または曲数(上限254曲)がいっぱいになっていませんか。	不要な曲があれば消してから録音する。 (MDは、たとえ1秒の録音でも、約2秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、演奏側の時間表示より録音時間が少し長くなります。)	55
	MDを入れても曲数などが表示されない。	MD以外のモード(CD、ラジオなど)になっていませんか。	[■]を押して、“ MD ”に切り換える。	
		MDが破損しているかもしれません。	別のMDで確認してみてください。	
	MDを入れても自動的に引き込まれない。 また、入れるのに力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	12
	コンバインやディバイトができない。また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去を繰り返していませんか。	録音データがしだいに細かく分断されていくため左記のような状態になることがあります。(MDの記録方式上の制約です。) この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	
			録音モード(標準/LP2/LP4/モノラル長時間)の異なる曲は、1曲にまとめることができません。	
	MDの操作ができない。	一時的に内部回路で不具合が起きた可能性があります。	電源を切/入してから操作してください。異常が再発するときは販売店にご相談ください。	

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
CD	演奏できない。 CD を入れても、曲数などが表示されない。	CD が裏表逆になっていませんか。	ラベル面を上にして入れる。	12
		規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	56
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。	
	特定の個所が演奏できない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	56
	CD の音がとぶ。 CD を録音すると音がとぶ。	CD の裏面に傷や指紋が付いていませんか。	指紋は柔らかい布でふいてください。 傷が付いている場合は、CD を交換してください。	56
MP3	MP3 ディスクでタイトルが表示されない。	本機で表示できない文字（ひらがな、漢字等）で付けていませんか。	本機で表示できる文字（カタカナ、アルファベット、数字、記号）で付けてください。	43
	MP3 ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行った MP3 ディスクを使用してください。	
		1 セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1 セッションのデータ量を約 5 MB（3 分程の曲で約 2 曲分）以上にしてください。	
ラジオ	FM がよく受信できない。 雑音やひずみが多い。	ホイップアンテナを調整しましたか。	ホイップアンテナの長さや向きを変えてみる。	7
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源を切ってみる。	
		送信所が遠くありませんか。	送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。窓際など、条件の良い場所に設置してみる。	7
	AM がよく受信できない。 雑音が多い。	AM ループアンテナを接続していますか。	AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。 AM ループアンテナを本体から離してください。	7
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源を切ってみる。	
		アンテナのコードが電源コードに接近していませんか。	アンテナのコードと電源コードを離す。	
	テレビ放送が受信できない。	ラジオが AM バンドになっていませんか。	テレビは 1 ～ 3 チャンネルの音声のみ FM バンドで受信可能です。	22
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	57
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープなどを貼る。	56
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	

メモリーのリセット（初期化）

次のようなときは、右の手順で、メモリーをリセット（初期化）してください。

- ボタンを押しても何も反応しない。
- メモリー内容を消して、再度設定したい。

● メモリー内容をリセット（初期化）するには

① 電源プラグを、コンセントから抜く
② 本体の [POWER ⏻/I] を押し続けながら
③ 電源プラグをコンセントに差し込み
表示部に“ ------------ ”が表示されたら
④ [POWER ⏻/I] を離す

● メモリーをリセット（初期化）すると

- 高速録音は約 74 分間経過しないとできません。
- 時計、放送局などは再度設定が必要です。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はパーソナル MD システムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

60 ～ 61 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	パーソナル MD システム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	RX-MDX80	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX　フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0602

さくいん

愛情点検

長年ご使用のパーソナルMDシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　－	品番	RX-MDX80
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT6547-2S
H0702HM2082